

## Part 1 基本情報

## 1. トルコプロフィール

- (1) 正式名称 (和文)トルコ共和国  
(英文)Republic of Turkey
- (2) 政体 共和制
- (3) 首都 アンカラ
- (4) 面積 78万576平方km
- (5) 人口 7,370万人(2010年12月)
- (6) 民族 トルコ人、クルド人、アルメニア人、ギリシャ人、ユダヤ人など
- (7) 言語 公用語 :トルコ語。
- (8) 宗教 大部分がイスラム教、その他ギリシャ正教、アルメニア正教、ユダヤ教等
- (9) 略史 1299年オスマン朝興る。最盛期にはバルカン、アナトリア、メソポタミア、北アフリカ、アラビア半島に及ぶ大帝国に発展。1922年オスマン・トルコ帝国滅亡、同23年共和国宣言。
- (10) 在留日本人 1,507人(2011年3月)
- (11) 気候 トルコの気候はマルマラ海、地中海、エーゲ海沿岸地方の地中海性気候、アナトリア半島内陸地方の大陸性気候、黒海沿岸地方の温帯湿潤気候の3つに大きく分けられる。首都アンカラの気温は冬の最低気温が-10℃以下、夏の最高気温が35℃以上になり、寒暖の差が大きい。

【参考】  
「外務省ホームページ-各国・地域情勢-」外務省

## 2. 業務のための基礎データ

## (1) JICA事務所の概要(トルコ事務所)

住所 : MNG Building 6th floor B Block, Ugur Mumcu Caddesi 88/6  
Gaziosmanpasa, 06700 Ankara Turkey

連絡先 : 国番号 : 90

市外局番 : 312

電話 : +90-312-447-2530~3

FAX : +90-312-447-2534

URL : <http://www.jica.go.jp/turkey/>

E-mail : [tk\\_oso\\_rep@jica.go.jp](mailto:tk_oso_rep@jica.go.jp)

執務時間 : 9:00~17:30(昼休み12:30~14:00)

休日 : 2011年は下記を休日とした。

1月 10日(月)

成人の日

2月 11日(金)

建国記念の日

3月21日(月)	春分の日
4月29日(金)	昭和の日
5月19日(木)	青年とスポーツの日
7月18日(月)	海の日
8月29日(月)	砂糖祭前日
8月30日(火)～9月1日(木)	砂糖祭
9月23日(金)	秋分の日
10月28日(金)	共和国記念日前日
11月7日(月)～9日(水)	犠牲祭
11月23日(水)	勤労感謝の日
12月23日(金)	天皇誕生日

事務所までの交通：

#### 【空港から】

空港とオンドクズ・ムス・スタジアム(アンカラ駅より徒歩10分)を經由したASTI(長距離バスターミナル)の間にはリムジン・バス(HAVAS)の便があり、料金は10TLである。ただしオンドクズ・ムス・スタジアムからホテルまではタクシーを使う必要がある。

空港から市内へ直接タクシーを利用すると約70～80TLとなる(外環状ハイウェイを利用すると約100TL)。

英語を話せない運転手が多いので、事務所の住所を運転手に見せること(事務所のあるMNGビルはトルコ語で「メーネーゲー・ビル」と言えば通じる)。

#### 【空港以外から】

該当情報なし。

## (2) JICA事務所周辺地図



### (3) 日本との時差、 サマータイム

日本との時差：-7時間

サマータイム：3月最終週の日曜日から10月最終週の土曜日まで。日本との時差は-6時間となる。

- (4) 祝日、官公庁の休日 祝日 : 5月19日(木) 青少年とスポーツ日  
8月30日(火)～9月1日(木) 砂糖祭(シュケル・バイラム)  
11月7日(月)～9日(水) 犠牲祭(クルバン・バイラム)  
休日 : 土曜日、日曜日。
- (5) ビジネスアワー 8:30～12:30、13:30～17:30(官庁により若干変動あり)  
銀行 9:00～17:00(土日休み)  
商店 9:00～19:00  
(日曜日は休業の店が多い。但し、スーパーマーケットや大規模ショッピングセンターは営業)
- (6) 言語 業務: 英語はあまり通じない。必要に応じて英語からトルコ語への通訳をつける。  
ホテル、買い物、食事: ホテルでは英語が通用する。買い物、食事などでは英語が通用しないので、トルコ語が必要
- (7) 通貨 通貨 : トルコ・リラ(TL)
- (8) 通貨レート 為替レート : 1米ドル=TL1.5974 (2011年3月現在)
- (9) 関係機関 **【在外日本関係機関】**  
●日本大使館  
住所 : Resit Galip Cad. No.81, Gaziosmanpasa, Ankara  
電話 : 312-446-0500 FAX : 312-437-1812  
勤務時間 : 9:00～13:00、14:30～18:30(土日は休み)  
URL : <http://www.tr.emb-japan.go.jp>  
**【トルコの関係官公庁】**  
●首相府 国家計画庁(Prime Ministry Undersecretariat of State Planning Organization: SPO)  
URL : <http://www.dpt.gov.tr>  
備考: JICA の窓口機関。主要経済データを入手することができる。  
●首相府 財務庁(Prime Ministry Undersecretariat of Treasury: UT)  
URL : <http://www.treasury.gov.tr>  
備考: 海外からの資金協力の窓口機関。主要経済データを入手することができる。  
●外務省  
URL : <http://www.mfa.gov.tr>  
備考: 外交政策、ニュース、トルコの概要に関する情報を入手することができる。  
ニュースサマリーは、首相府プレス情報総局が編集したものと国営アナトリア通信が編集したものを見ることができる。

## ●国家統計局(Prime Ministry State Institute of Statistics)

URL: <http://die.gov.tr>

備考: 各種統計データを入手することができる。

## ●首相府プレス情報総局(Prime Ministry Directorate General of Press and Information)

URL: <http://www.byegm.gov.tr>

備考: 「Turkish Press Review」でニュースを入手することができる。また、「ARCHIVE」で 1996 年以降のニュースを入手できる。

## ●民営化庁(Prime Ministry Privatization Administration)

URL: <http://www.oib.gov.tr>

備考: 民営化プログラム、民営化庁の出版物に関する情報を入手することができる。

## ●首相府外国貿易総局(Prime Ministry Undersecretariat of Foreign Trade)

URL: <http://www.foreigntrade.gov.tr>

備考: 外国貿易に関する統計(輸出入統計など)、フリートレード・ゾーンなどの情報を英語で入手することができる。

## ●トルコ大国民議会(国会)(Turkish Grand National Assembly)

URL: <http://www.tbmm.gov.tr>

備考: The Constitution of the Republic of Turkey を選択するとトルコ共和国憲法を英語で検索することができる。また、上記以外はトルコ語だが、トルコ政府機関にリンクすることができる。

## ●国立図書館(National Library)

URL: <http://www.mkutup.gov.tr>

## ●大蔵省(Ministry of Finance)

URL: <http://www.maliye.gov.tr>

備考: 国家予算の情報を入手することができる。

## ●中央銀行(Republic of Turkey Central Bank)

URL: <http://www.tcmb.gov.tr>

備考: IMF ミッションに関する情報、金融関係の統計情報、中央銀行出版物(Weekly Press Bulletin, Annual Report, Monthly Statistical Bulletin など)の情報を入手することができる。

## ●内務省

URL: <http://www.icisleri.gov.tr>

備考: トルコ語の情報が多いが、内務省のホームページから「Local Administrations in Turkey」を選択すると、地方自治制度に関する情報を英語で入手することができる。

## ●観光省

URL: <http://www.turizm.gov.tr>

備考:トルコの一般情報、観光情報を入手することができる。

(10)有用サイト

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>(外務省「各国・地域情勢」)

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html>(外務省「渡航関連情報」)

## Part 2 生活情報

※「生活情報」は特に記載のない限り、JICA事務所のあるアンカラの情報を中心に掲載しています。

## 1. ホテル、住宅

## 1-1 ホテル

アンカラ市内には、Hilton Oteli、Sheraton Ankaraなどの外資系5つ星ホテルを含めた多数のホテルがあるほか、アパートメント・ホテルがある。アパートメント・ホテルとは、寝室に台所とサロンのついたアパート形式のホテルで、簡単な調理器具、食器などが備え付けられ、清掃サービス(毎日)もある。アパートメント・ホテルは長期滞在者に適しており、家族を伴って赴任した場合でも、宿泊しながら落ち着いて家探しができる。また、料金も手ごろなので、2~3カ月の短期専門家の利用も多い。最近では満室であることも多いので、赴任が決定した時に1カ月間ほどの宿泊を予約しておくといよい。

なお、若年旅行者を対象とした安いホテルはウルス、クズライ地区に集中している。

外国人が利用する主なホテルは次のとおりである(詳細はPart3イエローページを参照)。

## &lt;5つ星ホテル&gt;



・Hilton Oteli

・Sheraton Ankara

・Rixos Grand Ankara

・Swiss otel Ankara

## &lt;4つ星ホテル&gt;

・HOTEL ALDINO

・Radison SAS

・Limak Ambassadeur Boutique Hotel

## &lt;その他のホテル&gt;

・Best Apart Hotel

・King Hotel Cankaya

・King Hotel Guvenlik

・Mega Residence

・Park Apart Hotel

・Hotel Metropol

## 1-2 住宅事情

アンカラ市内には一戸建ての独立家屋は少なく、低層または15階くらいまでのアパート形式の住居が多い。家具付きのアパートもある。通常、各アパートにはカプジュ(住み込みの雑役夫)がおり、ゴミ出し、簡単な買い物などをやってもらう

ことができる。

外国人の多くはチャンカヤとガジオスマンパシャ地区(大使館や公邸が多い)に住んでいる。

家賃は、借り手が外国人の場合はトルコ・リラではなく、米ドルかユーロの外国通貨での支払いを求められることが多い。管理費は、カプジュなどの給料、エレベーターの維持費を含み(給水、給湯は別途の場合もある)、物価によって変動する上に、暖房用燃料費が必要な冬季は高くなることもある。各戸の電気、ガス、電話代などは家賃に含まれない。

### 1-3 住宅の探し方

不動産会社に依頼して物件を訪ね、諸設備の状況、安全性、買い物・通勤・通学の便、駐車場、住人の様子、騒音の有無などを考慮して決めるのが一般的な方法である。

できれば、先に赴任している専門家・ボランティアや日本人の家を数軒見せてもらい、平均的な間取り、家賃、賃貸条件、地理的条件などを頭に入れた上で探し始めるのが理想的である。

貸家の窓には“Kiralik(For Rent)”と張り紙がしてあるので、自分の足で探し、家主と直接交渉してもよい。ただし、カウンターパートなど現地の事情に詳しい人に同行してもらい、あとでトラブルが起きないように注意する必要がある。

よく利用されている不動産会社は次のとおりである。これらの会社は家具付き物件を多く抱えており、家具なしの物件でも、交渉すれば家具を備えたり、レンタルしたりといった便宜を図ってくれる。また、入居後のトラブルにも対処してくれる。



- ・DETA Decoration, Estate & Teade Agency
- ・Real Estate & Consultancy
- ・LOOK US Real Estate Agency

### 1-4 住宅選定上の留意点

住宅の選定にあたり、次の点に注意する必要がある。

#### <環境>

冬季には暖房によって大気が汚染される。天然ガスと良質の石炭を使うようになって改善はされてきたものの、盆地状の地形が影響して、標高の低いアンカラ市の中心部ではいまだに大気汚染の影響を受けやすい。そのため、住居は標高の高い地域を選んだほうがよい。チャンカヤ、ガジオスマンパシャ地区は問題はない。

#### <給水>

各アパートには水道水の貯水タンクが備え付けられている。工事、または節水のため断水することがあるので、アパートの世帯数とタンクの容量を確認しておく

必要がある。また、セントラル給湯の場合でも、温水の使用時間が制限されている場合があるので、確認しておいたほうがよい。

#### <暖房>

セントラルヒーティングであっても、暖房の効率は建物によって異なる。自前で暖房器具を購入するケースもある。

#### <ガス>

天然ガスは普及しているが、暖房には石炭、重油などを用い、調理にはプロパンガスを使用しているアパートもあり、契約期間中に天然ガスへの転換工事が行われる可能性がある。

#### <周辺的环境>

一般に壁や天井は薄く、騒音が気になることが多いので、隣家の状況にも注意する必要がある。

#### <駐車場>

屋根付きの駐車場があるところは少ない。駐車場所を確保できるように、契約前に確認する必要がある。

#### <住宅の向き>

一般的にはアンカラの夏はしのぎやすく、冷房設備のある家は少ない。部屋の向きによっては西日が強く、クーラーが必要なほど暑くなることがある。冬の暖房がしっかりしているため、南向きの部屋より北向きの部屋の方が、夏は過ごしやすい。

#### <家主>

入居後のトラブルにきちんと対応してくれるかどうかは、家主の人柄によるところが大きい。

### 1-5 住宅の契約

契約に不備があると後々のトラブルの原因となる。信用のおける不動産会社もしくは仲介者に立ち会ってもらい、重要な点を確認しておく必要がある。

特に留意すべき点は次のとおりである。

- a) 設備の改修や家具の追加などがあれば、契約前に要求し、期限付きの同意書をとっておくこと。もし期限までに家主が約束を実行しない場合は、契約期間内でも契約を破棄できる旨のペナルティー条件をつけておくとよい。
- b) 家具付きアパートの場合は、必ず家主と一緒に家具の種類、数量、状態をチェックし、リストを作ってもらって双方で確認・署名する。契約書に、入居にあたって家具のリストを作る旨を明記するか、契約書に添付させるとよい。
- c) 契約期間は1年あるいは2年である。1年経過したあとは、2カ月、または2カ月より前に通告すれば契約を終了させることができる旨のただし書きをつけるケースが多い。
- d) 更新時には自動的に1年延長と判断される場合があるので、注意する。また、

「1年以内であっても、不慮の事故や勤務の都合で帰国の必要がある時は契約を終了させることができる」という条項を入れておく。

- e) 家賃は前払いで、契約時には1カ月分の敷金を支払うのが一般的である。3～6カ月分の前払いが多いが、備品追加などの条件によっては1年前払いすることもある。必要最小限だけを前払いして、その後は毎月払いにするのが無難である。急に帰国することになった場合、前払金はまず返ってこない。

敷金は電話料金の未払い、家具や設備の損傷対策のためのものであり、払い戻しが条件となっている。引き渡し時に電気、水道、ガス、電話料金が自分の名義であれば自分で処理するが、家主名義の場合は敷金から差し引かれるか、知人もしくは不動産会社に精算を頼むことになる。

不動産会社への手数料は同一ではなく、家賃の1カ月分、半月分、年家賃の数%など、さまざまなケースがあるため、最初に確認しておいたほうがよい。手数料が安い会社は、その分を家主から多くとって、家主側に有利な条件を主張する場合があるので、注意する。

### 1-6 ガス、水道などの手続きと管理

電気、水道(温水と分けるところもある)、ガスのメーターはたいてい戸別についているが、料金をアパート全体の住人で割ってとっているところもある。請求書は毎月送付され、指定された銀行に振り込むことになるが、長期にわたって請求書が届かず、突然、延滞料金まで加算された請求書が送られてくることもあるので要注意である。また、前の住人が使用した分の請求がくることも多い。契約時には、入居前の電気、ガス、水道のメーターに記された数字を契約書に記入しておくこと。

電話取り付けの申し込みは、所管のTurk Telekom(電話局)で行う。申し込みにはイカメット(滞在許可証)が必要である。電話回線は余裕があり、すぐに取り付けてくれる。

電話料金を滞納すると、支払い期限後早ければ2～3日で何の予告もなく回線を切られる。その場合は所管の局へ行き、回線をつないでもらう。たとえ1日でも支払いが遅れると、請求金額の10%以上の滞納金が翌月の請求書に加算されるので、十分な注意が必要である。市外・国際通話の明細は、Turk Telekomに文書で申し込めば電話料金請求書につけてもらえる。ただし、電話の名義人本人しか申し込みはできない。

また、間違った電話料金を請求をされた場合は、いったん請求書に従って支払いを済ませたあと、キュチュックエサットにあるYenisehir Telekom Mudurlugu(イエニシエヒル電話局)のファツラ・コントロール(請求・領収書受付口)に向くか、内容証明郵便でクレームを入れる。

後々のトラブルを避けるためにも、支払った領収書はすべて保存しておいた方がよい。

 Yellow Page

## 1-7 家電

### (1) 電圧

電圧と周波数は220V、50Hz。変圧器を現地で入手するのは難しいので、帰国する日本人から譲り受けるか、日本から持参する必要がある。

### (2) コンセント、モジュージャックの形

日本製品を使用するには、プラグ用アダプターが必要。プラグはC型(ヨーロッパ型、二相の丸ピンで直径は小さめ)で、アダプターは現地で入手できる。



コンセント

モジュージャックは日本と同型である。

### (3) 家電製品

炊飯器などの日本特有のものを除けば、アンカラで購入可能である。電圧の違いや通関での手続きの煩雑さを考えると、現地で購入するほうがよい。

## 1-8 家具保険

不要。

## 1-9 その他

ホテルでの長期滞在の場合は、5つ星ホテルであっても料金が下がることがあるので、交渉する余地がある。

## 2. 衣料、理容

### 2-1 衣料全般

#### (1) 一般事情

夏季(7~8月)は日中摂氏30度を超え、日差しも強いので、外出時にはサングラスが必要になることもあるが、湿度が50%以下と低いので、日陰や家のなかは涼しく過ごしやすい。一方、冬季(11~3月)は気温が低く積雪も多い。明け方には氷点下になることが多い。したがって、衣料は夏物から冬物まですべて必要となる。ただし、冬は暖房が充実しているため室内では厚着の必要はない。冬物に関しては、ダウンコート等の十分な外着を準備されたい。

アンカラ市内には、輸入品店を含め、多くの衣料品店がある。デザイン的には種類が多いが、日本人の体型に合わないことが多い。体型の違いは乳幼児や子供の場合に顕著であり、服の丈、胴回り、首回りなどがフィットしないことがあるので、注意を要する。

店によっては、ズボンの丈を直してくれるし、オーダーメイドの店でも、既製品の寸法直しが依頼できる。

## (2) 日本から持参したほうがよい衣料

## &lt;男性&gt;

下着類、ワイシャツ、背広、ブレザー、セーター、ネクタイ、靴下、靴、雨具、スポーツウエアなど。

## &lt;女性&gt;

下着類、合服、ブラウス、スカート、スラックス、セーター、ブレザー、パンティーストッキング、タイツ、靴下、靴、雨具、スポーツウエア、夏季用の帽子、日傘など。

## &lt;子供&gt;

滞在中の成長を考慮して、各種、サイズを取り揃えておく。特にシャツ、ソックス、靴などは消耗が激しいので多めに用意すること。

## &lt;乳幼児&gt;

肌着、おむつ、おむつかバー、寝間着など。紙おむつは、スーパーマーケットや薬局で購入できる。

## (3) 現地で調達したほうがよい衣料

寝具類はタオルケットを除き、国産品で十分間に合う。皮革工業が盛んで、革ジャンパー、コート、ハンドバッグなどは比較的よいものが安値で入手できる。ハンドバッグ類のオーダーメイドも可能である。

毛糸類も豊富で安値であるが、編み棒は持参したほうがよい。

## (4) その他の留意点

ドライクリーニングは、きめ細かな仕上げは期待できないが、特に問題はない。価格は日本よりやや高めである。

アンカラでは、道路の舗装状態がよくないため靴の傷みが激しい。また、坂が多く、冬季には凍結して滑りやすくなるので、安全のために靴底のしっかりしたものを選ぶ。雪の日にはスノーブーツのような靴が必要である。

スキーウエア、スノーブーツ等は日本から持ってきた方が、安価で品質もよい。スキーウエアはスキーの時はもとより、日常の防寒着として用意しておいた方がよい。

レインコートをはじめ、雨具は持参することが望ましい。

**2-2 礼装**

## (1) パーティー

男性はダークスーツ、女性はワンピース、スーツがあれば、ほとんどの機会に対応できる。礼服やイブニングドレスが必要になった場合は、現地で調達が可能である。

## (2) 式典

特になし。

## (3) 冠婚葬祭

特になし。

## (4) その他の留意点

特になし。

## 2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

## (1) 洗濯

電気洗濯機はドラム式しかなく、日本で一般的な流水式はない。洗濯ネットの入手は難しいので、持参したほうがよい。洗剤は外国製を含め多くの種類が揃っており、漂白剤、柔軟剤、洗濯のり、スプレーのりも入手できる。

ドライクリーニング店はあちこちにある。アイロン、洗濯機も現地で出回っており、性能もよいので持参する必要はない。

## (2) 仕立て、修繕

仕立て技術は比較的優れており、仕立て代も高くない。既製品を見本として持参すれば、きれいに仕上がる。

衣類、靴、バッグなどを修繕する店もある。

## (3) 保管

乾燥しているのでカビの心配は少ないが、防虫対策は必要である。ナフタリンなどの防虫剤は現地で入手できる。

## 2-4 美容院、理髪店

美容院はKuafor、理髪店はBerberという。男性用の美容院はErkek Kuaforなので、間違わないよう注意する。店にもよるが、予約はほとんどいらない。高級ホテル内にも美容院がある。一般に、日本の美容院などのようなきめ細かなサービスは期待できず、日本人とトルコ人の髪質の違いからか、パーマが強かかりすぎることがある。

 Yellow Page

美容・理髪用品、化粧品は各種出回っているが、使い慣れたものを持参するほうが安心である。また、子供がいる場合は、散髪セットを持参すると便利である。

## 3. チップ

## 3-1 チップ事情

## (1) 習慣の有無

習慣あり。

## (2) 各種サービスに対するチップ

レストランでは、2TL/人程度(一家族で5TL程度)。おつりがない場合は支払い時に上乗せして払うが、おつりがある場合は、いったん支払いを終えたあと、勘定書が入っていたボックスなどに入れる。

ホテルのポーターには、荷物を部屋に届けてくれた際に、1～2TL程度を渡す。美容院でも担当者に2TL程度を渡す。

## 4. 食生活

### 4-1 外食

#### (1) 一般事情

アンカラでは外食をする傾向がしだいに強まっており、レストランの数、種類も年々増えている。

#### (2) 飲食店

市内には多数のレストランがある。シシケバブに代表される肉、魚料理などのトルコ・レストランは各種あるが、イタリア料理、フランス料理、中国料理店などが数軒ある。日本料理(寿司)を出す店は数軒ある。

アルコール類は許可制で、置いていないところもあるため、目的によって店を選ぶ必要がある。Hilton Oteli, Sheraton Ankaraなどの高級ホテル内にもレストランがあり、通常食事代にサービス料が含まれていても、10%程度のチップを置くのが習慣である。

夕食時は込みやすいので、予約しておくといよい。

日本人が比較的よく利用するレストランは次のとおりである(詳細はPart3イエローページを参照)。

#### <中国料理>



- ・Cengizkaan(ジンギスカン)
- ・Quick China(クイック・チャイナ)
- ・Sushico(寿司幸)
- ・Cin Seddi
- ・Panda(熊猫中餐店)

#### <西洋料理>

- ・BIG CHIEFS
- ・Café Budakalti(カフェ・ブダックアルトウ)
- ・Ivy(アイビー)

#### <イタリア料理>

- ・Mezzaluna(メツアルナ)
- ・Mest(メスト)

#### <トルコ料理>

- ・Yakamoz Kuglu(ヤカモズ・クール)
- ・01 Adanali(スフルビル・アダナル)
- ・Pisirme Evi(ピシルメ・エヴィ)
- ・Kale Washington(カレ・ワシントン)
- ・Haci Arif Bey(ハジ・アーリフベイ)

- ・Uludag Kebapcisi(ウルダー・ケバブジュス)
- ・Koroglu Iskembecisi(キョロール・イスケンベジシ)
- ・Mangal(マンガル)

## 4-2 食料

### (1) 一般事情

農産物はヨーロッパなどへも輸出しており、主要作物である小麦、米、ジャガイモ、オリーブ、果物などの品質は高い。レンコン、長イモ、サツマイモなど、日本的なものを除けばたいの野菜が入手できる。

主食はエクメックと呼ばれるフランスパン風のパンである。レストランでも必ずテーブルに出され、肉や魚を挟んだサンドイッチは庶民の昼食の花形である。

パンや米、小麦粉、塩、茶、野菜などは政府が価格を低く抑えており、付加価値税も8%(一般品は18%)と低い。

肉、魚、乳製品、調味料なども豊富である。食品加工もかなり発達しており、肉加工品、乳製品、ジュース、お菓子、パスタ、缶詰、酢漬け、薫製品、ジャム、調味料など、トルコ製のものが豊富にある。また、ヨーロッパやアメリカ、東南アジアなどの外国製品も入手できる。

しかし、しょうゆ(ヨーロッパ製、中国製、シンガポール製)、ゴマ油(中国製)のほかは、和食用の材料がスーパーマーケットの店頭に並んでいることはほとんどない。

### (2) 主な食品の出回り状況

#### <飲料水>

一般家庭では水道水を直接飲用しているところもあり、極端に悪い状態ではない。しかし、硬水であることと、蛇口に至るまでの配管、建物内での貯水の方法など、衛生面で信頼できない点が多いことを考えると、直接飲用しないほうがよい。

トルコでは、ポリ容器に詰められたミネラルウォーターが普及していて、アンカラ市内に限らず、地方でも食料品店(バツカル)では必ず売られている。種類は0.3リットル入りから5リットル入りまで各種ある。また、家庭用として19リットル入りの特大ボトル(5~7TL、手動ポンプで汲み上げる)を買うことも多い。

#### <米>

さまざまな品質のトルコ産米が年中豊富に出回っている。なかには日本的な炊き方で食べられる品種(Calrose、Baldoなど)もある。そのほか、カリフォルニア米、パキスタン米、タイ米なども入手できる。なお、モチ米は入手できない。

#### <小麦粉>

強力粉、薄力粉はないが、トルコ産の中力粉はどの食料品店でも入手できる。

#### <パン>

トルコの主食エクメックは、安価でどこでも入手できる。食パン、ホットドッグや

ハンバーガー用のパン、アンカラ特有のバズラマなどもスーパーマーケットなどで手に入る。バケット、パイなどもある。また、街頭では、朝食やスナック用のシュミットといわれるドーナツ型のゴマのついたパンが売られている。

#### <パスタ類>

国産品は豊富に出回っている。イタリア製のパスタ類も割高だが入手できる。

#### <肉類>

牛肉、羊肉、鶏肉が豊富に売られている。肉店、スーパーマーケットでは各部位に分けて売られており、脂肪や筋を取り除いたり、ひき肉にもしてくれる。

肉加工食品も豊富である。ハム、ソーセージ、サラミ、生肉を香辛料で包んで干したパストウルマなどがあり、切り売りもある。一部のスーパーマーケットでは、ポークハム、ソーセージ、ベーコンなど、豚肉加工品も入手できるが、かなり高価である。そのほか、七面鳥も手に入る。ウズラも鶏肉店で入手できる。

#### <乳製品>

豊富である。牛乳は日本で一般に市販されているものと同様のものが手に入る。また、長期保存ができる牛乳(LL牛乳)も多く出回っている。ヨーグルト、バター、チーズ、アイスクリームも豊富で種類も多い。チーズはスーパーマーケットで量り売りもしている。

製造年月日、及び賞味期限は明記されている。

#### <卵類>

鶏卵は新鮮なものがスーパーマーケットやバツカル、鶏肉店などで売られている。ウズラの卵も見られる。スーパーマーケットでは賞味期限が示されている。割れている卵もあるので、買う前にパックを開けて確認した方がよい。

#### <魚介類>

種類は日本ほど豊富ではない。タイ類、マグロ、サバ、スズキ、カツオ、アジ、イワシ、ボラ、カマス、カレイ、サケ、シタビラメ、タコ、ニジマス、コイ、ムール貝、エビ、イカなどがある。

4～9月は漁が制限されるため出荷量が少なくなるが、養殖のクロダイ、マス、スズキ、サケなどは年中入手できる。冷凍エビ、白身魚などもスーパーマーケットで入手できる。トルコ製のカラスミや瓶詰のイクラもあり、輸入品のキャビア、スモークサーモンも大きなスーパーマーケットで入手できる。海藻類はない。

#### <野菜>

種類は豊富で新鮮である。

##### ・季節に関係なく入手できる野菜

ジャガイモ、ネギ、キュウリ、トマト、タマネギ、ニンジン、ピーマン、ナス、ズッキーニ、パセリ、ニンニク、マッシュルーム、もやし、生シイタケ(ただし店頭にあれば)など。

##### ・端境期はあるが入手できる野菜

レタス、キャベツ、ホウレンソウ、カボチャ、カリフラワー、白菜、インゲン、ソラ

マメ、ラディッシュ、ブロッコリー、リーク、芽キャベツ、アーティチョーク、クレソン、オクラ、カブ、グリーンピース、サヤエンドウ、サラダ菜、セロリ、トウモロコシ、シシトウガラシ、トウガラシ、ビート、ショウガなど。

そのほか、時期は短いが白アスパラガスも出回る。また、アダナで活動していたJICA「半乾燥地域農業開発現地実証調査プロジェクト」が導入した日本種大根も普及し、冬場を中心にアンカラにも出回るようになった。

#### <果物>

種類が豊富で旬のものは安値である。リンゴ、ブドウ、オレンジ、温州ミカン(サツマと呼ばれる)、グレープフルーツ、イチジク、イチゴ、サクランボ、ビワ、メロン、スイカ、ザクロ、モモ(黄桃)、柿、栗、洋ナシ、ナシ(長十郎系)、スモモ、アンズ、カリン、アボカド、バナナ、キウイ、プルーンなどがある。ナッツ類も豊富で、ヘーゼルナッツ、クルミ、アーモンド、カシューナッツ、ピスタチオ、ピーナッツ、ドングリなどが売られている。

#### <調味料>

塩、グラニュー糖、コショウをはじめ、各種の西洋スパイス、果実酢、マヨネーズ、マスタードなどが一般的である。しょうゆはヨーロッパやシンガポール製の「キッコーマン」が入手できる。米酢(中国製)は一部のスーパーマーケットで入手できる。ザラメは一部のスーパーマーケットで入手できるが、白砂糖はない。七味唐辛子などの和食用調味料はない。米酢は一部スーパーマーケットに置いてあることもある。みそも取り扱っている店はあるが、賞味期限間近であったり業務用の大きなものであったりするので、あてにはできない。

なお、イスタンブールの日本食料品店からみそ、酢、しょうゆ、うどん、そば等を取り寄せることができる。値段は高いが品質は悪くない。

#### <食用油>

ヒマワリ油、コーン油、オリーブ油、キャノーラ油が豊富にある。マーガリンも入手できる。ゴマ油は一部スーパーマーケットで中国製が手に入る。

#### <酒類>

トルコ産のワイン、ビール、ウオツカ、ジン、ウイスキー、ラクがある。ラクはブドウの蒸留酒で、水を加えると乳白色になり独特の香りがする。トルコの肉料理によく合うとされている。

ワインは国内各地に産地があり、アンカラにも「カバクレデレ」というワイナリーがある。ビールも各種入手でき、生ビールもある。最も一般的なのは「エフェスビールセン」で、ほかに「ツボルグ」「ローエンブロウ」もライセンス生産されている。また、「マルマラ」というノン・アルコールビールも売られている。後述のRealスーパーマーケットのテケル(専売公社)コーナーをはじめ、大きなスーパーマーケットでは、外国製のスコッチやウイスキー、ブランデー、ラム酒、リキュール類が入手できる。

なお、日本酒、焼酎は入手できない。

### <嗜好品>

トルコはお茶の輸出国である。トルコチャイと呼ばれる独特のいれ方をした紅茶がガラスのコップで愛飲されている。「リプトン」をはじめ、「トワイニング」などのイギリス紅茶、セイロン茶なども大きなスーパーマーケットで手に入る。

トルココーヒーは、細かく砕いたコーヒー豆と水を専用の小型の鍋に入れて煮立てたものであり、こさないで上澄みだけを飲む。注文する時は砂糖の量を指定する。インスタントコーヒーも各種出回っている。

そのほかコーラなどの炭酸飲料、ジュース類も豊富である。タバコは、国産品からアメリカ、イギリス、フランスなどの輸入品、パイプタバコ、葉巻が入手できる。

### <菓子類>

種類が多く豊富である。クッキー、ケーキ、チョコレート、キャンデー、アイスクリームなどを売るパスターネと呼ばれるケーキ店が街に多数あり、喫茶店を兼ねているところも多い。アイスクリームもトルコ製の独特の粘り気のあるものや、シャーベット、バーキャンデーなど、種類は豊富である。

牛乳から作ったシュトラッチというプリン的一种、ロクムと呼ばれる菓子、秋から冬にかけて作られるケスターネシェケール(マロングラッセ)など、トルコ独特の菓子も多い。ただし、おおむね日本人の味覚には甘すぎるようである。

スーパーマーケットやバツカルには各種のスナック菓子、ビスケット、ピーナッツ、ガム、チョコレートなどの国産品が出回っている。

### (3)食料の入手

アンカラ市内には大小多数のスーパーマーケットがあり、酒類も含めてたいいていものは入手できる。近所であれば電話注文で配達もしてくれる。

外資系の大型スーパーマーケットも市内に何軒かあり、生鮮食品から日用雑貨まで揃っている。レジはバーコードを読み取り、クレジットカードでの支払いも可能である。

市内の各所では週2回くらいパザール(市場)が開かれ、新鮮な野菜や果物が入手できる。日本人がよく利用する魚店や青果店は先任者に教えてもらうとよい。日本食材は、しょうゆ、豆腐以外ほとんど入手できないと考えた方がよい。

日本人がよく利用するスーパーマーケットは次のとおりである。



- Begendik
- Migros (G.O.P)
- Buyuk Migros (アンカモール内)
- Real(ビルケントセンター内)
- Carrefour
- Metro(原則会員制。卸売りのような売場)
- Kipa(PANORA内)

### 4-3 食器、調理器具

#### (1) 食器、調理器具などの入手

洋食器はトルコ製品のほか、ヨーロッパ製のものが出回っており、ナイフ、フォーク、スプーン類も揃えられる。特にグラス類は豊富で種類も多く、クリスタルガラス製品なども安く入手できる。

フライパン、鍋類も各種ある。家具付きのアパートには1ダース分くらいの洋食器セット、グラス類、調理用具、鍋類が備えられていることが多い。電子レンジ、フードプロセッサー、コーヒーメーカーなどは現地仕様品(220V)が入手できる。日本のような炊飯器はない。

**Yellow Page** 上記のスーパーマーケットでも入手できるが、Pasabahce (パシヤバチエ)は品質もよく人気がある。

#### (2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具

炊飯器、すり鉢、すりこぎ、おろし金、はし、巻きす、盆、竹ざる、急須、オイルポット(油こし器)などは持参したほうがよい。焼き肉用のホットプレートも一部のスーパーマーケットで扱っているが、常時あるとは限らないので持参したほうが安心である。

和食器、はしは最近少しずつ扱う店が出てはきたが、必要なものは持参すること。包丁は一応あるが切れ味の点で物足りないので、持参したほうがよい。

## 5. 生活用品の購入 5-1 家電製品

**Yellow Page** 炊飯器など、特別のものを除き、Real(詳細はPart3イエローページ9.「スーパーマーケット」を参照)などの現地の店で購入できる。電圧の違い、通関の問題があることから、現地で購入するほうがよい。

クズライ地区にあるイズミル通り沿いに電気製品販売店が軒を並べている。

### 5-2 家具

たいていのものは現地のTepehome (テペホーム)などの家具店で購入でき

**Yellow Page** る。

### 5-3 日用品、雑貨

4-2(3)「食料品の入手」で紹介したスーパーマーケットあるいはパザールで購入できる。

### 5-4 工具、素材

**Yellow Page** 工具、素材などは、Praktiker、Koctasなどのホームセンターや工具店で入手できる。

## 6. 金融機関

### 6-1 金融機関

#### (1) 銀行

外国為替業務のできる銀行口座であれば、外貨をそのまま保持することができる。現金の持ち出しについては5000米ドル相当以上のトルコ・リラの制限があるが、海外送金やトラベラーズチェックについての制限はない。このため、在勤手当などの振り込み先を現地銀行に指定している日本人も多い。

なお、トルコにはこれまで金融機関が乱立しており、現在、政府の政策として銀行の整理、淘汰が進められているので、口座開設にあたっては銀行の信用、経営の健全度などを確認すること。よく利用されている銀行には、Turk Ekonomi Bankasi / TEB銀行 (Gaziosomanpasa支店、詳細はPart3イエローページを参照) がある。

 Yellow Page

#### (2) 口座の開設と閉鎖

アンカラでは一般に普通預金(米ドル、ユーロ、トルコ・リラ)口座が使われている。口座を開設するには、納税者でなくとも事前に税務署から納税者ナンバーを入手しなければならない。これは、納税者ナンバーがないと銀行のコンピュータが受け付けず、送金や小切手の現金化などの手続きができないシステムになっているため。納税者ナンバーの発効には、①申請者(外国人)が居住地の管轄警察署に滞在許可証(イカメツ)の申請を行い、②管轄警察署からPopulation Directorate General(戸籍局)に滞在許可情報が転送され、③戸籍局内にて登録、納税者ナンバーが公表されるという手続きを踏む必要がある。最初の管轄警察署への申請からナンバー発行まで約15日程度を要する。滞在許可証(イカメツ)の申請は、長期滞在外国人であれば銀行口座開設に関わらず必ず行うものであり、赴任後に手続きを行うことになるが、口座開設は全ての手続きが完了してからとなるため、当面1ヶ月程度の生活費については持参した方がよい。特に、地方勤務の方は、赴任地での手続きとなるため、手続きに時間を要する可能性がある。

なお、日本からの送金にあたっては、EU諸国等(トルコも含む)では本人確認のために、口座番号とは別にIBAN(アイバン)といわれるコード情報が付与される。外国送金(日本→トルコ)の際にIBANコードがない場合には、「特別な対応を要する取引」として、送金の遅延、未実行、別途手数料を取られることとなる。従って、口座番号とともにIBANコード(TR+24桁の数字)も併せて、銀行口座届けに記載する必要がある。

口座の閉鎖は、銀行に申し入れればすぐに手続きがなされる。

#### (3) 小切手

小切手よりクレジットカードのほうが普及している。

#### (4) 換金方法

外貨からトルコ・リラへの交換は、銀行か両替所(合法機関)で行う。交換レートは各銀行、両替所で異なり、両替所のほうが率がよい。一般的に扱っている外

貨はユーロ、米ドルであるが、そのほかの外貨を取り扱うところもある。ただし、日本円を扱っている銀行や両替所は極端少ない。トラベラーズチェックは取り扱いがないところが多く、扱っていてもあまり歓迎されない。従って日本円現金およびトラベラーズチェック(ユーロ、米ドルでも)は事実上使えない。

トルコ・リラから外貨に替える際、銀行では、トルコ・リラに替えた時の両替領収書を要求されることがあるが、両替所では自由である。

## 6-2 クレジットカード

VISAとMasterCardの場合、トルコ・リラでのキャッシングができるキャッシュディスプレイが多数ある。一般に都市部では、トルコ人は小額の買い物でもクレジットカードによる支払いをすることが多い傾向にある。

## 7. 交通事情

### 7-1 交通手段

#### (1) 一般事情

国内は道路網が整備されている。主な都市間には長距離バスが昼夜運行しており、市民に最も利用される交通手段となっている。長距離バスによるアンカラ～イスタンブール間の所要時間は、約6時間である。

市内の主な交通手段には、タクシーやバスのほかにドルムシュと呼ばれる乗り合いタクシーがあるが、慣れるまでは普通のタクシーを利用するほうがよい。

#### <タクシー>

黄色いボディの横にナンバーが大きく書かれており、屋根には「TAKSi」と表示されたランプがついている。メーター精算で、初乗り料金は都市によって異なる。0:00～6:00は深夜料金となり、昼間の50%増しとなる。タクシーは比較的容易に拾うことができる。また、住宅地などでは街灯柱などにタクシーの呼び出しボタンがあり、あまり待たずに利用できる。また、自宅からタクシーステーションに電話で依頼すると玄関まで来てくれる。

一般に、アンカラ市内のタクシー運転手のマナーはそれほど悪くなく、メーター制なので料金のトラブルもあまりない。ただし、イスタンブールなど観光客の多いところでは、不当な料金を請求されることも少なくない。注意しなければならないのは、発車時のメーターをリセットしてあるか、昼間なのに深夜料金になっていないか、高額紙幣のおつりをごまかされていないか、遠回りされていないか、などである。

#### <バス>

運行ルートにより番号が分けられている。料金の支払い方法はバスによって異なり、プリペイドカード(EGOカード)を事前に購入し運転席横の機械に通すか、車掌に現金で支払うかのいずれかである。プリペイドカード式の場合、現金は受け付けないので注意する。

### <ドルムシュ>

一定のコースを走るマイクロバス(都市によっては普通乗用車)。定員(10人くらい)になると発車し、コースの途中ならたいのところで乗降できるので便利である。英語は通じないので、トルコ語(片言で可)とだいたい地理を覚えてから利用するとよい。料金はバスより少々高い。

### <地下鉄>

METRO (Kizilay～Batikent)、ANKARAY (Dikimevi～ASTI)の2路線が運行しており、日本人でも利用しやすく、特に長距離バスターミナル(ASTI)への移動は利用価値がある。なお、西部郊外への地下鉄建設工事が進められている。

### <飛行機>

アンカラ、イスタンブール、イズミール、アダナ、アンタルヤ、ディヤルバクル、エルズルム、ガジアンテップ、バン、サムスン、トラブゾンなどの各都市を結んでいる。国際線もあるトルコ航空(THY、TK)、Anadolu Jet(TK子会社でアンカラ発着の国内線専門。但しイスタンブール線は除く。なお便名の表示はTKとなっている)、Atlas Jet、Pegasus Airlines、Onur Air等のほか、チャーター会社がいくつかある。

### <鉄道>

トルコ国有鉄道(TCDD)が、イスタンブール、イズミールなどの内陸部の主要都市間を走っている。また、アンカラ郊外のシンジャンとママックを結ぶバンリヨという通勤電車もある。

#### (2) 空港から市内への移動

エセンボア(Esenboga空港)からオンドクズ・マユス・スタジアム(アンカラ駅より徒歩10分)経由でASTI(長距離バスターミナル)までHavasという名前のリムジンバスが運行されている。アンカラ市内までは約30km、所要時間は約40分、料金は10TLである。

#### (3) 自家用車を利用する場合

日本国内で国際免許証を取得しておくか、大使館で日本の免許証をトルコ語に翻訳したものを携帯していれば、現地の免許証を取得する必要はない。国際免許証の有効期限は1年であるが、在トルコ日本国大使館で発行してもらうトルコ語翻訳は日本の免許証の有効期限と同じである。日本の免許証が派遣期間中に期限切れとなる場合は、派遣証明などを持参して日本であらかじめ更新しておくほうがよい。

トルコでは道路の舗装率は高いが、路面状態はよくない。アンカラ市内には歩行者用信号がきわめて少ないため歩行者が車の間を縫って横断しているのが、運転の際には十分な注意が必要である。車の割り込み運転も当たり前に行われている。

車両は右側通行である。制限速度は都心部で時速50km、郊外で90kmであるが、ほとんど守られていない。ハイウェイはかなり立派で交通量も少ないので、

時速120kmぐらいで走っている車も多い。そのため、無理な追い越し、居眠り運転による大事故が発生している。

トルコでは、思いがけないことが起こり得ると認識し、慎重な運転を行うことが肝要である。

主な注意事項は次のとおりである。

- ・対向車が車線をオーバーしてきたら、早めにパッシングしてスピードを落とす。  
工事中の道路など、ドライバーが気づかないうちに往復分離道路が対面交通道路に変わっている場合がある。自分が正しいと双方が思い込んで、そのまま正面衝突、というケースを避けるためである。
- ・交差点で赤信号から青信号に変わってもすぐに発進しない。  
信号が赤に変わっても無理に交差点に突っ込んでくる車両があり、自分側が青信号になったからといって安心して発進すると、思わず衝突事故を起こす危険がある。交差点で先頭車両になった場合は、交差点に進入する車がないかを確認した上で発進すること。
- ・丘の頂上付近では徐行運転をする。  
自分が丘を登っている場合、たとえ正しい車線を走っていても、反対車線の無理な追い越し車が頂上の向こうから急に出てくる可能性がある。スピードを落としていれば路肩に逃げることもでき、大惨事を回避できる。
- ・郊外での走行。  
最も注意すべきは、農作業用トラクターである。低速のトラクターが前方を走っていると、速力を誤認して接近しすぎ、追い抜こうとして対向車線に飛び出して向かってきた車と正面衝突してしまうなど、大事故につながりやすい。  
また、羊、牛などの家畜の群れが急に道路を横断することが多い。道端に家畜の姿を認めたら、すぐに徐行するくらいの心構えがほしい。

#### (4) レンタカーなどを利用する場合

空港や主なホテルには必ずレンタカー会社の出張所があり、気軽に利用できる。利用の際は、電話で希望車種を予約しておく。料金は車種によって異なるが、普通のセダンでは1日約150米ドル(税込み、ガソリン代は含まず)である。料金は利用開始時に払う。また、通常はマニュアル車で、オートマチック車はほとんどない。なお、借りた時にガソリンがほとんど入っていないことが多い。満タン返しという習慣はないようである。

主なレンタカー会社は以下のとおりである。



- ・AVIS
- ・Hertz
- ・Budget

#### (5) 地図

道路庁(Kara Yollar Genel Mudurlugu)から170万分の1の立派な全国道路図が発行されている。道路庁はアンカラ市のエスキシェヒル道沿いにある。

書店で売られているアンカラ市内地図は古いものが多い。観光省のTurizm Informasyon (ツーリズム・インフォメーション)に行くと、新しいアンカラ市内地図をくれる。

## 7-2 交通事故、盗難

### (1) 対処方法

車は、思いがけないさまざまなことが起こり得ることを想定して運転するのが賢明である。事故に遭った時には必ず警察(電話 :155)に届けるとともに、大使館に連絡すること。また郊外なら、ジャンダルマ(警察に代わる保安部隊 電話 :156)に知らせる。

渋滞になろうとも、事故車両を移動させず事故現場を維持したままトラフィック・ポリスを待つのが慣例である。自分に非がない場合は、毅然とした態度で相手の主張に押されないようにすること。あまり感情的にならぬように注意してポリスの判断に任せること。

なお、現場検証による渋滞が多発していることから、当事者同士が同意すれば所定の様式に記入して両方で確認することで、ポリスを呼ばずに処理することが2007年から可能となった。しかしながら、外国人の場合は自分に不利なことが書かれていても確認することが困難なため、大使館では必ずポリスを呼んで現場検証をするように勧めている。

### (2) 救急病院

救急車を呼ぶ場合は112番にダイヤルする。国立、私立のたいていの総合病院では、24時間救急窓口が開かれている。また、交通事故専門の救急病院であるTrafik Hastanesi(電話 :312-287-2400)がコンヤ道路にある。

### (3) 車両の盗難、車上荒らし

車の盗難の話はしばしば耳にするので、注意が必要である。車中には貴重品を置かないこと、車から離れる際は少しの間でも必ずロックする、荷物はトランクに入れて外から見えないようにすることなどを心がけたい。

住宅は駐車場のあるところを選び、外出した際は無理な路上駐車よりもオートパルクと呼ばれる駐車場を利用するようにする。最近はハンドルをロックする器具やアラーム・システムなどが普及しており、現地で購入できる。

強制保険(交通保険)での車体の補償は低額なため、別途任意保険をかけることを勧める。また、車両税の納付を年2回(1月と7月)する必要がある。事前の連絡はないので注意すること。

## 7-3 交通違反

### (1) 交通法規

信号が青から赤に変わっても、交差点に車が突っ込んでくる場合がよくあるので、信号を過信してはならない。必ず自分の目で安全を確認する必要がある。

車両の右側通行のほか日本と大きく違うのは、左折(日本なら右折)時の規則である。日本では交差点中央で止まり、対向車が来なければ曲がってよい。しかし、トルコでは、ロータリーのある交差点では左折方向の信号が青になるまでは交差点中央で待機しなくてはならない。したがって、左折時は2回信号待ちをすることになる。

日本では直進、道路幅などで優先があるが、現地では通用せず、その場での状況判断が必要となる。また、深夜や早朝、交通量の少ない時には一方通行や信号はほとんど無視されるので、それらを踏まえて冷静に運転すること。

大きな事故が急増しているため、最近では郊外でのスピード違反の取り締まりも厳しく(「ネズミ捕り」もある)なっている。捕まると反則切符が切られ銀行等で罰金を納付する。信号無視の罰金の場合は年2回の車輛税支払いの際に、併せて支払う。

駐車禁止の標識はあるが、守られていない。主要道路では取り締まりが厳しく、レッカー車で移動されることも多い。駐車違反の場合はその場で反則切符が切られるのではなく、後日違反を犯した日時、場所等を記した罰金納付通知書が郵送されて、初めて判明する。

## (2) 罰金、罰則

飲酒、駐車違反、スピード違反の取り締まりがある。特に連休には主に車が旅行の交通手段となるため、取り締まりがより厳しくなる。警察官に違反を指摘された場合は、逆らわずに素直に指示に従うこと。

酒気帯び運転・飲酒運転は日本と同様に厳禁と認識すべきである。

罰金は住居に納付書が書留で郵送されるので、指定の期日までに金融機関に納付する。早めに納付すると割引がある。

## 7-4 車の修理

### (1) 部品

国産車、輸入車ともに消耗品、スペアパーツなどは入手可能である。

輸入車の純正部品の入手には、時間や費用がかかる場合があるが、中古の部品であれば比較的容易に入手できる。

スノータイヤ、タイヤチェーン、シートカバー、カーシート、芳香剤などのアクセサリも売られている。

### (2) 修理工場

国産車については各社のサービスステーションが全国にあり、特に問題はない。

輸入車についても、アンカラ市の北東部、イスタンブール道路に近いところに、各メーカーの修理工場が集まった車修理団地がある。そのほかに電気関係、タイヤ関係、排気関係など、専門分野に分かれた大小の修理工場も多くある。

各メーカーの修理サービス工場があるので、そこを利用するのが一般的であ

る。

## 8. 通信

### 8-1 電話

#### (1) 一般事情

携帯電話を含めて電話の普及率はきわめて高く、長距離や国際電話もダイヤル通話が可能である。

アパートは初めから電話がついているところが多い。新規の電話取り付けも容易で、申し込み後1週間程度で取り付けしてくれる。申し込みは、最寄りのTurk Telekomで用紙に記入して行うが、英語が通じないので、カウンターパートかアパート契約にかかわった不動産会社に同行してもらうとよい。

毎月10日ごろまでに、前月25日の納付期限となっている電話料金の請求書が送られてくるので、最寄りの金融機関(銀行、PTT)で払い込む。料金の請求にはしばしば間違いがあるので、請求は別途申請して明細書付きにしてもらうとよい。なお、銀行口座からの自動引落しにすることもできる。

#### (2) 国内電話

ほとんどの都市ヘダイヤルインによる通話が可能である。公衆電話もあるが、携帯電話の普及にともなって数は多くない。PTT(郵便局)から電話(コントロールテレホン)をすることもできる。公衆電話を利用する場合に必要なテレホンカードはPTT等で購入する。カードがない時や地方から自宅に電話する時などは、PTTや最寄りの売店でコントロールテレホンを利用するのが最も安くて便利である。

市外へ電話をかける場合は、「0→市外局番→市内番号」とダイヤルする。

#### (3) 国際電話

ダイヤル直通で国際電話がかけられる。回線状況は比較的良好である。

日本へは「00→国番号81→0をとった市外局番→電話番号」の順でダイヤルする。

日本からアンカラへは、「010(国際電話認識番号)→国番号90→市外局番312→7桁の番号」となる。

主な都市の市外局番は次のとおりである。

アンカラ:312、イスタンブール:212(欧州側)、216(アジア側)、イズミール:232、ブルサ:224、アンタリア:242、トラブゾン:462、アダナ:322、メルシン:324

#### (4) 携帯電話

携帯電話は非常に普及している。プリペイドカード方式の携帯電話であれば外国人でも容易に入手可能である。

販売店はいたるところにある。プリペイドカードはパスポートのコピーを持参すれば直ちに入手できる。

## 8-2 電信

### (1) ファクシミリ

電話と同様問題ない。ファックス機能付電話機は電気店、文具店で購入することができる。

### (2) テレックス

ほとんど使われていない。

### (3) 電報

どのPTTからでも打つことができる。

### (4) インターネット

インターネットの普及は目覚ましく、アンカラでもプロバイダーの数は急増しており、現在20社以上が存在する。プロバイダーと期間を決めて直接契約する場合と、使用時間の決められたディスクを書店やPCショップで購入して、使用する場合とがある。

**Yellow Page** 主なプロバイダーにはAdanet、Kablonetがある(詳細はPart3イエローページを参照)。

## 8-3 郵便

### (1) 一般事情

**Yellow Page** 普通の郵便局(PTT)は月曜から金曜の8:30ごろから17:30ごろまで営業しているが、局によって異なる。

郵便事情は必ずしもよいとはいえず、誤配もあって時には届かない郵便物もある。封書、はがきは宅配制であるが、海外からの小包の場合は、局から届けられた通知書と、パスポートを持ってアンカラ北西部のイエニマハレにあるKoli Servis Mudurlugu(郵便小包サービス局、所在地 : Esref Bitris Cad. No.8, Yeni Mahalle、電話 : 327-1754/1755)へ行き、通関手続きをして荷物を引き取る。小包の引取りには最低でも25TLの手数料がかかる。引き取りの際の必要書類は時折変更されるので、事前に電話で確かめたほうがよい。なお、海外からの小包の場合2kgまでであれば、各戸に手数料なしで配達してもらえる(但し、2kg以上の場合でも各戸配達してもらえる場合もあるようである。特にバイラム前は海外からの小包が急増するためか、チェックが甘い傾向にあるようである)。

日本までの郵便料金は封書(20gまで)0.8TL、はがきは0.7TL。日本からの郵便は通常10日くらい、トルコから日本へは8日くらいで到着する。ただし、バイラム(祭日)で休日が続く時や、夏期休暇のころはかなりの遅配があるので心得ておいたほうがよい。

### (2) 課税

食料品、ビデオテープ、医療品、電化製品、商品サンプルに見えるものなどは制限、もしくは課税の対象となっており、これらが含まれた小包の引き取りは困難なことがある。ただし、最新の入国日から3カ月以内、断食明けの祭りの時、新

年の前後1カ月については、ある程度制限が緩やかになる。小包引き取りの許可は、内容物、重量、担当官の裁量により判断される。事務処理の効率は悪く、手続きにはいくつもの部屋でサインをもらうなど、時間がかかる。

### (3) 国際宅配サービス

**Yellow Page** よく利用されており、トラブルもまずない。ASE(OCS)、DHL、UPS、Fedexなどがある。

## 9. コンピュータ

### 9-1 ハード、ソフト

#### (1) 調達の方法

Windowsが主流である。Macは少ない。コンピュータおよび周辺機器は日本に比べて高値である。

#### (2) 使用の際の注意

停電があるため、内蔵バッテリーがなければスタビライザーを使うことを勧める。ソフトに関しては、日本語版はないので持参する。ウイルス対策はエチケットとして必須である。

#### (3) 修理

コンピュータ本体、周辺機器の修理を依頼できる会社は次のとおりである(詳細はPart3イエローページを参照)。ただし、日本から持参した機器を修理できるか保証の限りではない。

- Yellow Page**
- ・Macrom
  - ・Kulup Abakus Bilgisayar Hizmetleri Tur.Tic.Ltd.
  - ・Devran Gilgisayar Iletisim ve Gida Sanayi Ticaret Ltd.

## 10. 職場環境、勤務条件

### 10-1 職場環境、勤務条件

#### (1) 就業時間

就業時間はおおむね8:30～12:00、13:00～17:00で、昼休みは12:00～13:00である。残業は配属先によるが、一般的に官庁機関ではほとんどない。

#### (2) 有給休暇

勤続年数によって有給休暇は増え、最初の5年間は2週間、5年から10年の間は20日、10年以降は30日となる。

#### (3) 執務室

通常個室である。

#### (4) 通勤事情

各機関のサービス車を利用している。

## 11. 出入国手続き

### 11-1 入国

#### (1) 空港施設概要

アンカラへの国際便の乗り入れは多くない。アンカラに外国から直接乗り入れる場合はアンカラ空港(エセンボア空港)で、入国・税関手続きを受ける。しかし、イスタンブールに入り国内便でアンカラへ乗り継ぐ場合は、入国手続きはイスタンブール空港で受け、預けの荷物はスルーでアンカラで受取るため、アンカラで税関手続きを受ける。

#### (2) 入国手続き書類

出入国カードによる手続きは行っていない。通常、イエローカード(予防接種証明書)の検査はないが、コレラ発生地域からの旅行者には必要となっている。外貨の持ち込み制限はないが、\$5000以上は入国時に申告の義務がある。

トルコに3か月以上滞在する場合には、イカメット(Ikamet)と呼ばれる滞在許可証を取得する必要がある。これは身分証明書であり、ビザの代わりでもある。イカメットがなければ税関から荷物を引き出すことはできず、外国旅行にも出られない。車を購入する際にも必要である。

#### <イカメット(Ikamet)取得手続き>

通常、配属先からイカメット発行依頼がProvincial Directorate of Security(日本で言うところの県警)に提出される。ここでの審査は、配属先の精通度合いにもよるが、上部組織に伺いを立てるため約1ヶ月かかる。したがって、着任後ただちに取得手続きを開始する。審査終了後、書類はProvincial directorate of Securityに戻され、ここに本人が申請書を提出してイカメットを受け取ることになる。申請に必要なものは、A5サイズのフォーム1通、A4サイズのフォーム1通、配属先発行の勤務証明書1通、写真6枚、パスポートおよび手数料である。

警察本部に書類とパスポートを預け(受取証をもらう)たあと、数日でイカメットが発行される。家族(子供含む)もイカメットを取得しなくてはならない。

なお、受入れ機関によっては、イカメットのことを全く知らないこともある。その場合は、カウンターパートに、警察本部の担当窓口(Yabancılar Subesi、電話 : 312-303-5470)に申し込み方法を問い合わせるように依頼する。

イカメットはいわば身分証明書であり、常に携帯したほうがよい。国内旅行の場合、イカメットがあればパスポートは不要である。出入国の時は必ずナンバーなどのチェックがある。パスポートの有効期限までの範囲内でしかイカメットの延長はできないので、パスポートを先に更新しておかなければならない場合もある。

#### (3) 入国審査

パスポートを審査官に提出するのみである。

#### (4) 税関検査

紙巻きタバコ200本、葉巻50本、酒類(100cc)5本、コーヒー1.5kg、紅茶500g、チョコレート1kg、菓子1kg、小型PC1台、携帯TV(画面16cmまで)1台、ポータブ

ルCDプレーヤー1台、ポータブルラジカセ1台、カメラ1台、フィルム5本、ビデオカメラ1台、ビデオテープ5本、香水(120ml)5本までが免税の範囲となっている。

貴重品、15,000米ドル以上の価値のある品物は出国時の証明のために、入国時にパスポートに登録しておく必要がある。

鋭利な道具(キャンプナイフなど)、武器、銃器、火薬類、麻薬、ポルノビデオ・雑誌などは持ち込み禁止である。

一般的なスーツケースが1～2個であれば、厳密な検査はほとんどない。しかし、明らかに機材とわかる荷姿の場合や、段ボール箱がいくつもある場合は開梱を要求される。電化製品(変圧器も含む)、薬品、ビデオテープ、大量の食料品などは、厳しくチェックされることが多い。

電化製品やコンピュータ類は、出国時に持ち出す旨をパスポートに明記して通関できることもある。この場合、Temporary Importationとして処理されるので、任国外旅行などの際に持ち出すことを要求されないように、輸送会社などを通してしかるべき手続きを済ませる必要がある。電化製品の有無を問われた際は、「ない」と答えるのが無難である。

骨董品、手織りのじゅうたんなどを持ち込む際は、申告しておかなければ持ち出せなくなることがあるので注意する。

#### (5) 空港内での留意点

空港の外景の写真撮影は一切禁止されている。

ポーターは出入国ロビーにいる。料金は、荷物1個につき1米ドル前後である。必要がない時は、断ればしつこくつきまとわれることはない。カートは有料で1台1ユーロ(もしくは2TL)である。

#### (6) 空港からの主な交通手段

アンカラ空港(エセンボア空港)からオンドクズ・マユス・スタジアム(アンカラ駅より徒歩10分)を經由してASTI(長距離バスターミナル)まで、Havasという名前のリムジンバスが運行されている。30分～1時間ごとに国内線到着出口の前から出発する。アンカラ市内までは約30km、所要時間は約40分、料金は10TLである。

タクシーは協定により、アンカラ市内から空港行きは昼間でも深夜料金(50%増し)が適用されている。

#### (7) その他の留意点

家族や調査団などが出入国する際、複数のパスポートをまとめて審査官に渡すことがあるが、スタンプ押し忘れの可能性があるので、必ず確認すること。

## 11-2 出国

### (1) 出国時の概要

パスポートとともにイカメットの提示を求められる。

免税車を所有している場合は(パスポートに明記してあるので)、任国外旅行などで一時出国をする際、まれにその車両が勤務先の車庫に保管してあること

を証明する文書が必要とされる場合もある。

#### (2) リコンファーム

3日以上滞在する場合は、なるべく早めにリコンファームした方がよい。

#### (3) チェックイン

国際便のチェックインは、2時間前に開始し、35分前に受け付けが終了となる。また、国内便は30分前に受け付けを終了する。

チェックインの時間に間に合わなかった搭乗予定者は、キャンセルされる。

#### (4) 空港利用税

トルコの場合、空港利用税は航空券購入時に徴収されている。

#### (5) その他の留意点

骨董品の国外持ち出しについては、「5年以上10年以下の懲役。執行猶予なし」という厳しい罰則があり、注意が必要である。

美術品、古いじゅうたんなどを持ち出す場合は、美術館、博物館などの審査を受け、輸出許可を受けなければならない。

### 11-3 帰国手続き

#### (1) 帰国時に必要な事務手続き

特になし。帰国時の荷物発送に関しては、専門の会社に委託すると、前述のじゅうたんなどの輸出許可取得を代行してくれる。

#### (2) 車の処分

トルコ国産車を規定の税金を納めて(1月と7月に納付)購入すれば、いつでも誰にでも自由に売却することができる。イエニマハレやオースティンでは日曜日に「アラバパザル」という中古車市がある。トルコ語新聞にも車の売買広告が出ている。免税車の場合は、売却または廃車処分をしたのち、税関でその証明をしてもらわなければならない。

手続きが煩雑なため、入手・売却時ともに専門の会社に委託する。

#### (3) 家財道具の処分

海送、空送ともに専門の会社に委託するか、航空別送荷物(アナカン)として航空会社へ持ち込む。

主な運送会社は以下のとおり(詳細はPart3イエローページを参照)。



•Esen Nakliyat

•Asya Nakliyat

郵便小包は30kgまでで、料金は最初の1kgが40.3TL。その後1kgごとに14.9TLがチャージされる。私品と公品は別々に梱包、輸送する。

#### (4) 住宅の明け渡し

賃貸契約条項(通常1か月前に家主または仲介不動産会社へ文書で通知する)にのっとり行う。家具、家の引き渡し後に敷金に戻るが、損傷があった場合は、敷金から引き去られる。

## (5) 外貨持ち出し規制

5000米ドル相当以上のトルコ・リラ等の現金持ち出しは禁止されている。

## 12. 治安、 緊急時の心得

※生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

### 12-1 暴動、クーデターなど

#### (1) 一般事情

南東部地域では、クルド人独立国家の建設を主張するクルド労働者党(PKK)が、2004年5月にこれまで一方的に発出していた停戦宣言の破棄を表明したことから、治安部隊との衝突、爆弾テロ事件がたびたび発生している。

イスタンブール市では、2003年11月15日に市内2か所のシナゴーク(ユダヤ教の教会堂)において、また、同20日に英国総領事館及びHSBC銀行トルコ本部において、イスラム過激派によるとみられる大規模な爆発事件が連続して発生し、多数の死傷者を出した。この事件以降、爆弾爆発事件が(警察による不発処理も含む)が発生している。2007年5月にはアンカラ・ウルのショッピングセンターで爆発事件があり死傷者が出ている。

また、エーゲ海や地中海に面した欧米人がよく訪れるリゾート地でも、しばしば爆発事件が発生し、外国人を含む死傷者が出ている。

外務省では、2009年3月現在、イスタンブール県及び南東部10県(トゥンジェリ、エラズー、ビンギョル、ディヤルバクル、マルディン、バトマン、ムシュ、ビトリス、シールト、ヴァン)を対象に、「十分に注意してください」、イラクと国境を接する南東部2県(ハッキヤーリ、シュルナク)を対象に、「渡航の是非を検討してください」との警戒措置を継続して呼びかけている。これら地域への旅行はもちろん、それ以外の地域であっても注意する必要がある。なお、治安情勢は急変することもあるため、旅行者は外務省の「海外安全ホームページ」などで常に最新の情報を入手すること。

#### (2) 対処法

トルコ在留日本人の安全確保は、トルコ政府が第一義的責任を負っている。関係当局への連絡、通報については常日ごろから留意しておくことが必要である。

また、在トルコ日本大使館との緊密な連絡網を確立するとともに、トルコ住民との良好な関係維持に努めることが肝要である。トルコ国内旅行中などに事件に身近に事件があった場合には、自分が被害に遭っていないなくても、自分の安否を日本大使館などの関係機関に連絡する。

できる限りラジオ、テレビを視聴し、的確な治安関係情報の入手に努めるとともに、平素から安全対策および緊急時の対応策も整えておかねばならない。

## 12-2 強盗、盗難

### (1) 一般的治安状況

現在のところ安定しており、犯罪発生率も低い。しかし、日本人旅行者、在留日本人が、睡眠薬強盗、空巣、置き引きなどの被害に遭っている例もあるので、油断は禁物である。家の外に出る際は、身分証明書(イカメツ)かパスポートを携帯する必要がある。

### (2) 住宅の防犯対策

住居の選定時には、警察詰め所が近くにあるかを確認し、周辺の住人の状況なども考慮に入れる必要がある。1階の窓には鉄格子を備えるのが無難である。

過去の日本人の被害例などから見て、一般的に次の心構えが肝要である。

- a) 観光地、ホテルなどで、特別な理由もなく、なれなれしく近寄ってくる人に気を許さないこと。
- b) 平素から近隣の人々と良好な関係を保ち、旅行などで長期にわたって留守にする場合などは、防犯に注意を払ってもらう。
- c) 訪問を受けた際は、必ずのぞき窓から相手を確認する。また、扉を開ける時は必ずチェーンをかけたまま用件を聞き、見知らぬ人を家のなかに入れない。

### (3) 市中での防犯対策

盗難、ひったくりが増えているので、大金や貴重品は携行しない。家にも置いておかない。

また、銀行のATMを使っている時の犯罪や、クレジットカードの悪用もよくあるので所持品には常時気をつける。銀行員を装って行う犯罪があるので、他人に暗証番号を教えない。

### (4) 注意すべき場所、危険地域

昼間であれば危険地域は特にないが、夜間はバー、ナイトクラブのある通りを単独で歩かないほうがよい。また、引ったくりを避けるために、歩道の道路側を歩かないようにする。

### (5) 被害時の心得

被害や暴力を受けた時は警察へ届け出て、日本大使館へ連絡すること。

入国時に持ち込んだ(パスポートに記録されている)電化製品や免税車などを盗まれた場合は、警察に盗難証明書を発行してもらい、出国の時に提示する必要がある。

## 12-3 火災、風水害、地震

### (1) 一般的災害発生状況

トルコは地震国であり、風水害もかなりある。東部では季節によって雪崩の危険がある。

### (2) 防災対策

賃貸家屋については特に保険は必要ない。防災施設が完備していないので、

何か起こった場合は日本大使館の指示に従う。

### (3) 被災時の心得

あらかじめ避難場所(公園、学校など)を設定しておくといよい。

## 12-4 緊急連絡先電話番号

・日本大使館 : 312-446-0500

関係当局の連絡先(電話番号)は次のとおりである。

・警察 : 155

・ジャンダルマ(内務省保安隊) : 156(郊外、地方は警察でなく別組織が担当)

・救急 : 112

・消防 : 110

## 13. 社交

### 13-1 風俗習慣

イスラム教国であるが、ケマル・アタチュルク(1881～1938年)による改革以降、政教分離に基づいた近代化政策が進められている。EU加盟が政治課題となっているように(2005年10月に正式に加盟交渉が開始された)、ヨーロッパ志向が強い。そのため、都市部で生活する上では宗教的な色彩はあまり感じられない。また、外国人が宗教的な制約を感じることも少ない。飲酒も自由であり、都会では女性の社会進出も盛んである。半面、保守的なところも多く見られ、食事も伝統的なものが好まれる。

外国人に排他的な感情を持つ人もいるが、ほとんどのトルコ人は、外国人やその習慣に対して寛容である。それでも、トルコ人と交流する際は、トルコ人の習慣を尊重して対応することが望ましい。

トルコ人はあいさつの際は、男女を問わず握手をする習慣があり、親しい間柄では両頬を交互にすり合わせる。在留外国人にはそれぞれの社会があり、趣味を通じての社交は多い。

### 13-2 パーティーでの留意点

トルコ人とのパーティーでも、一般的なパーティー常識を持っていれば問題はない。

在留日本人の大きな集まりは、日本人会の忘年会と大使公邸での新年祝賀会であるが、イブニングドレスや着物を着用する必要はない。

### 13-3 来客時の留意点

一般に、トルコ人は食事に対しては保守的である。日本に特別に興味を持った人でない限り、和食には手をつけないこともあるが、あまり落胆しないこと。

### 13-4 訪問時の留意点

食事などに招待された際、切り花、鉢植え、チョコレート、ケーキなどを持って行く習慣がある。

配膳され、勧められた料理はたとえ少量ずつでも頂くようにしたい。

乾杯は「シェレフェ」、いただきます、召し上がれ、ごちそうさまは「アフエットオールスン」という。家庭料理をごちそうになった時は、夫人に「エリニゼ・サールック」とねぎらいの言葉をかける。

婚礼の際、花嫁に金貨(トルコ政府発行)を贈る習慣があるが、外国人の場合は必ずしもこだわる必要はなく、ほかの贈り物を選んでさしつかえない。

### 13-5 禁止されている言動(タブー)

イスラム教やケマル・アタチュルクに対する誹謗は慎むこと。また、トルコ人は誇り高い民族であるので、自尊心を傷つけるようなことは言わない。

トルコ人は一般にアルコールを飲酒するが、イスラムの習慣を重んじる相手には留意する。また、豚肉は全く食さないので注意する。

### 13-6 日本人会

アンカラには、在留日本人によるアンカラ日本人会があるが、事務局は設けていない(連絡先の問い合わせは在トルコ日本大使館領事班へ)。

### 13-7 JICA帰国研修員同窓会

トルコから帰国したJICA研修員によって結成された同窓会があり、年1回年次総会を実施している。

### 13-8 現地の人々との交流

該当情報なし。

## 14. 教育

### 14-1 教育事情

#### (1) 一般事情

初等教育(6才～、8年)、中等教育(4年)、および大学がある。義務教育は初等教育の8年間となっている。公立学校の授業料は無料であるが、学校の物品、経費の一部は父兄が負担している。学校数が不足しているため、午前と午後で別の生徒が1つの校舎を使用することも多い。

有料の私立学校があり、「コレッジ」と呼ばれている。一般に、私立はレベルが高いといわれ、入学試験もある。

9～1月と2～6月までの2学期制で、夏休みは約3カ月ある。

希望の大学へ入学することは難しく、都市部ではほとんどの学生が予備校に通っている。

## (2) 日本人学校

アンカラ日本人学校は2004年3月をもって休校となった。補習校はない。なお、イスタンブールには日本人学校がある。

子弟の教育については、海外子女教育振興財団に問い合わせるとよい。

## &lt;海外子女教育振興財団&gt;

URL : <http://www.joes.or.jp/>

E-mail : [service@joes.or.jp](mailto:service@joes.or.jp)

受付時間 : 9 : 30~17 : 30(月~金曜、祝日・年末年始を除く)

## ・東京

住所 : 〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル6階

TEL : 03-4330-1349

FAX : 03-4330-1355

## ・関西分室

住所 : 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-200 大阪駅前第一ビル2階

TEL : 06-6344-4318

FAX : 06-6344-4328

## (3) 現地校、外国人学校

公立校は一般にトルコ語で教育を行っているが、なかには英語、フランス語などによる教育を行うところもある。

私立では英語、フランス語などによる授業を行うところが多く、レベルはかなり高い。入学手続きには、日本での在学証明書と各種予防接種実施証明書が必要である。また、British Embassy Study Groupでは、英語を話せることが入学条件となっている。

日本人子弟が入学可能な外国人学校は次のとおり。



- ・Oasis International School
- ・Bilkent International School (BIS)
- ・George C. Marshall American School
- ・British Embassy Study Group(小学5年まで)
- ・Pakistan Embassy International Study Group
- ・Our Lady of Victory School(バチカン大使館付属)

## (4) 幼稚園

トルコ語保育の幼稚園は各種ある。英語による保育を行って幼稚園は次のとおり。



- ・The Ankara English Preschool
- ・Sihirli Bahce Montessori Okulu
- ・The International Preschool and Kindergarten
- ・Gence Preschool

## 14-2 教育関係施設

### (1) 図書館など



Milli Kutuphane (国立図書館) が Bahcelievler (バハチエリエブレル) にあるが、大学生、大学教職員、公務員以外の利用は認められていない。各大学の図書館は日本人子弟でも閲覧できる。

## 15. 家庭の使用人

### 15-1 一般事情

下記各項目参照。

### 15-2 運転手

#### (1) 雇用

アンカラ市内はタクシーやバスが利用できて交通の便がよく、運転手を雇うにはそれなりの人件費がかかるということもあって、日本人が個人で運転手を雇用する例はあまりない。

#### (2) 日常管理

該当情報なし。

#### (3) 教育指導

該当情報なし。

#### (4) その他の留意点

該当情報なし。

### 15-3 家政婦／夫

#### (1) 仕事の種類と人数

家政婦／夫についても、運転手の場合と同様に人件費がかかり、住居の間取りにも余裕がないので、住み込みでの雇用例はほとんどない。通いで週に1回～数回来てもらうのが一般的である。家政婦／夫には主に掃除、洗濯、アイロンがけなどを依頼している。また、食事の準備を手伝ってもらったり、子守を頼むこともある。ベビーシッターを専属で雇う例はあまりなく、必要な時だけ頼むのが一般的である。

#### (2) 雇用

信頼できる友人、知人、または不動産会社から紹介してもらい、勤務日、勤務時間、賃金などを話し合った上で雇う。通常、契約書は作成せず、賃金は日払いとするため、解雇はいつでも可能である。交通費は賃金に含める場合も、別途支給することもある。昼食は、簡単なものを雇用主側で用意する場合がある。

賃金のおよその目安は、2009年現在では1回の勤務につき70～80TL程度である。最初の交渉にもよるが、雇用している期間中は、家人の不在などの理由で約束の勤務曜日が休みとなっても、賃金は支払う習慣となっている。

## (3) 日常管理

ものがなくなる心配はほとんどないが、大切なものは鍵をかけて保管するなどの注意をすべきである。業務内容などは理解してもらえが、慣習が異なるため、作業手順などはこちらの希望どおりにいかないこともある。

## 15-4 庭師、ガードマン

比較的治安が安定していることや、アンカラでは大部分がアパート住まいであるため、個人的に庭師、ガードマンを雇うことはほとんどない。建物の共通部分はカプジュ(門番兼雑役夫)が管理しており、大きなアパートには入口にガードマンが常駐しているところもある。

## 16. メディア

## 16-1 新聞、雑誌

## (1) 現地発行の日刊紙

トルコには現在27の全国紙と400紙以上のローカル紙があるが、英字紙は「Turkish Daily News」のみである。

一般紙は街頭のスタンドで販売されている。「Turkish Daily News」については、外国人が多く居住するチャンカヤ、ガジオスマンパシヤ地区では宅配も可能である。また、カプジュに依頼して、毎朝買ってきてもらうこともできる。

・英語紙 : 「Turkish Daily News」

・トルコ語紙 : 「Hurriyet」「Milliyet」「Sabah」「Cumhuriyet」「Ates」「Gozcu」

「Gunaydin」「Bugun」「Meydan」ほか

## (2) 日本の日刊紙

ロンドンのOCS COURIER SERVICE(London) Ltd.に直接申し込む。宅配も可能である。当日版が届くこともあるが、イスタンブールからの飛行機の都合などで配達にはしばしば遅れる。購読料は上記のOCSのロンドン事務所に送金する(OCSの詳細はPart3イエローページを参照)。

 Yellow Page

## (3) 欧米紙／誌

欧米紙、雑誌には次のものがあり、主な書店で購入できる。

・英語紙 : 「The Times」「The Wall Street Journal」「The Financial Times」

「Internatinal Herald Tribune」「USA Today」

・英語雑誌 : 「Time」「Newsweek」「The Economist」「Euro Business」

・フランス語紙 : 「France-Soir」「Le Monde」

・フランス語雑誌 : 「Le Figaro」

・ドイツ語紙 : 「Suddeutsche Zeitung」

## (4) 日本の雑誌、書籍

日本の出版物は入手できないので、日本で定期購読契約を結ぶか、前述のロンドンOCSに直接問い合わせる。トルコに限らず、インターネットショッピング

ングのAmazon.comが便利である。

## 16-2 ラジオ

### (1) ラジオ放送局

現在、36の放送局が全国放送を行っており、そのうち5局は国営放送（TRT）である。TRT 3（102.8または91.2MHz）では、9:00、12:00、14:00、17:00、22:00のトルコ語ニュースのあと、英語、フランス語、ドイツ語でニュースを放送している。

アンカラの放送はFMがメインで、民間の音楽ステーションが多くあり、トルコ音楽のほか、西洋音楽を専門に放送している局もある。

### (2) NHKワールド・ラジオ日本（ラジオジャパン）

スリランカ経由またはガボン経由の中東・ヨーロッパ向け放送を、朝、夕ともにアンカラで聞くことができる。時期によっては受信状態が悪くなることもある。使用周波数は3月、5月、9月、11月に変更され、放送などによって告知される。

<周波数表、番組表の入手>

URL : [http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radioguide\\_j.html](http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radioguide_j.html)

### (3) 聴取可能なその他の外国放送

該当情報なし。

## 16-3 テレビ

### (1) 地上波放送局

テレビ放送はトルコ人の主な娯楽のひとつである。ローカルなものを含めると、全国にはテレビ局が300局近くある。

現在22の全国ネット局があり、そのうち16局（KANAL-D、Star、KANAL-6、KANAL-7、SHOW、HBB、FLASH、ATV、TGRT、MEDYA、NTV、BTV、NUMBER ONE、MESAJ、KRAL、INTERSTAR）は民間放送局で、このなかには音楽専用局も3局ある。そのほかの6局（TRT 1、TRT 2、TRT 3、TRT 4、TRT-INT、TRT-GAP）は国営放送（TRT）である。

英語ニュースは少なく、時間無制限のトルコ語ニュースのあとに放送されるため、毎日放送開始時間が変わる。

### (2) 衛星放送、ケーブルテレビなど

日本語による衛星放送として、欧州と中東をカバーするJSTVがある。ロンドンから24時間放送されており、NHK及び民放の番組が放送される。住居の向きによるが、ベランダなどにパラボラアンテナを立てることができれば、デジタルデコーダーを購入することによって視聴が可能となる。ただし、住居によっては美観の観点からパラボラアンテナ設置を認めていないこともある。

詳細は<http://www.jstv.co.uk/>を参照。

その他の衛星放送、もしくはTurksatのケーブルTVサービスでは、アメリカ（CNN、NBC）、イギリス（BBC）、フランス、ドイツ、イタリア、スペインなどの放送

が見られる。ただし、受像機の機種によって制限がある。また、有料の映画専用局(CINE-5)もある。

### (3) テレビ受信

受信方式は日本(NTSC方式)とは異なるPAL方式であり、日本仕様のテレビは使えない。どちらの方式でも受信できるマルチシステムのテレビ受像機が現地で入手できる。ビデオデッキ、DVDデッキもマルチシステムで長時間録画・再生できるものが市販されており、日本で撮ったビデオも再生できる。アンカラ市内にはレンタルビデオ店もある。

DVDの録画方式は、トルコは欧州や日本と同じRegion 2である。

## 17. スポーツ、 趣味、 語学学習

### 17-1 スポーツ

#### (1) ゴルフ

アンカラにはゴルフ場はないが、練習場はある。

- ・Ankara Ahlatlibel Golf Club

#### (2) テニス、フィットネス

日本人がよく利用しているテニス施設、プール・フィットネス施設は次のとおりである(詳細はPart3イエローページを参照)。

 Yellow Page

- ・Sports International

- ・Ankara Club

#### (3) その他のスポーツ


該当情報なし。

### 17-2 趣味

該当情報なし。

### 17-3 語学学習

#### (1) 語学学習施設

 Yellow Page

日本人が参加できる成人向け語学学校に、TOMER(トメル)がある。

#### (2) 家庭教師

アンカラでも家庭教師による語学学習が可能である。

## 18. 観光

### 18-1 地方旅行の留意点

外務省が注意喚起を発出している地域を除き、自由に旅行できる。

観光地では、日本語で親しそうに話しかけてきて、高価なじゅうたんなどを売ろうとする人が多いので注意すること。

観光地では、旅行者に睡眠薬入りのジュース(チャイ、クッキー、キャンデー、

ヨーグルトなどのケースもある)を言葉巧みに飲ませ、眠らせてものを盗むという手口の犯罪が多発している。最悪のケースとしては死亡した日本人もいるので、警戒を要する。

主要な観光地へは自家用車でも行けるが、長距離バス、飛行機、列車などを利用しても便利である。アンカラ市内からはツアーバスも運行されている。

政教分離の国ではあるが、国民の多くがイスラム教徒であるため、イスラム教に関連した大きな休日がある。ラマダン(断食月)終了後のシェケールバイラム(砂糖祭)と、巡礼月の最後のクルバンバイラム(犠牲祭)がそれで、前後の土日を加えて5~6日の連休になることが多い。したがって、この時期の旅行には、かなり早めにホテルや飛行機などの予約をとっておく必要がある。

軍事施設、空港、警察、鉄道、橋は撮影禁止となっているので注意すること。

トイレは観光施設、ドライブインなどにあるが、トイレトーパーを備え付けていないところもある。トイレは有料(0.50~1TL)のところが多いので小銭を用意しておくこと。

## 18-2 主要観光地・保養地

トルコの主要部であるアナトリアは、世界でも最も古くから文明が発達したところのひとつである。アジアとヨーロッパをつなぐ回廊にあたることから、常に東西諸国家の争奪の地となってきた。したがって、旧石器時代からヒッタイト、フリギア、ローマなど、多くの民族の遺跡、史跡がいたるところに存在している。トルコの考古学者だけでなく、イギリス、フランス、ドイツ、日本などの学者もトルコ政府の許可を得て各地で発掘を行っているが、遺跡の復元などはこれからの課題となっている。

アンカラ南東150kmのカマンという町の近くでは、日本の財団法人中近東文化センターによって毎年夏季にカマン・カレホユック遺跡の発掘作業が行われている。発掘現場には、同財団によってアナトリア考古学研究所が設置され、日本庭園も造られており、アンカラ日本人会の行事として見学に行くこともある。

また、三方を海に囲まれたトルコには、美しい自然に恵まれた保養地も数多く存在する。観光はトルコの大きな外貨収入源であり、海辺、スキー場、温泉地、ゴルフ場などのリゾート施設の整備も進められている。ホテルなどもヨーロッパと比較すればまだ手ごろな値段であり、ロシア、ドイツ、フランス、アメリカ、イスラエルなどから訪れる観光客は多い。

### <イスタンブール>

東ローマ帝国の首都コンスタンチノーブルとして、さらにオスマン帝国の首都として、1000年以上の歴史を誇る大都市であることはいうまでもない。各種ガイドブックが市販されているので、そちらを参照されたい。

### <カッパドキア>

穴居生活の跡がそのまま見られる、世界的にも有名な奇勝である。特にギョレ

メ、ウルギユップなどでは、凝灰岩という火山灰質の岩石が浸食されてできた、キノコのような奇怪な形状の岩が群立しており、別世界に来たような印象を受ける。この地方には、1世紀ごろから多数のキリスト教徒が定住し、凝灰岩のなかをくりぬいて住居としていた。また、教会も多数造られ、その岩壁に描かれた見事な壁画が目をはく。

中心のネヴシェヒルから南に20kmほど行くと、当時外敵から身を守るために造られた深さ100mにも及ぶ地下都市(カイマクル、デリンクユ)もある。アンカラからネヴシェヒルまではちょうど300kmで、強行軍にはなるが日帰りの観光も可能である。

#### <ボアズカレ(またはボアズキョイ)>

B.C.25世紀からA.D.8世紀にかけて、アナトリアー帯に栄えたヒッタイト王国の首都の遺跡である。アンカラからサムスンへの道を東に170km、スングルルという町を越して右折し、20kmほど南に進むと平野が狭まって、どっしりとした石灰岩の丘が眼前に迫ってくる。ボアズカレはこの丘の地形を巧みに利用して造られた先史時代の城郭都市で、周囲に天然の岩壁をめぐらし、門や通路を備え、内部には多数の建物や住居の跡が散在している。近くのヤズルカヤの岩壁に彫られた戦士の像も見逃せない。

#### <地中海地方>

地中海地方には、アンタルヤ、メルシンなど、多くの都市がある。なかでもアンタルヤとその周辺は美しい風光と多くの遺跡で知られ、ロシアやヨーロッパからも毎年多数の人が観光、保養に訪れている。近年、リゾート開発が盛んに行われ、27ホールを備えたゴルフ場もある。アランヤ、マナヴガット、ケメルなどでは多数の貸し別荘やペンションが建設されている。ペルゲ、アスペンドス、シデなどの有名な遺跡も多く、西方オリンポス国立公園の景観も雄大である。

#### <エーゲ海地方>

地中海地方に勝るとも劣らぬ観光地である。中心都市イズミールから200kmの圏内には有名な古代都市遺跡エフェスをはじめ、トロイ、ベルガマ、ミレトス、デイマイ、ボドルムなど、イオニア時代からの遺跡が数多く存在し、クシャダス、チェシメ、マルマリス、フェティエなどの保養地も多い。

また、イズミール東方250kmの世界遺産に登録されているパムッカレ(綿の城)は、丘の中腹から噴き出した温泉から石灰分が沈殿し、真っ白い石灰華があたかも滝のような観を呈していたり、大小の天然のプールが階段状に造られていたり、この世のものとは思えない景観を形造っている。カッパドキアと並ぶ世界的な奇勝である。

### 18-3 旅行代理店

旅行代理店は数多くあり、航空券の手配や国内外のツアーを企画している。ツアーの広告は英字新聞よりもトルコ語新聞に多く掲載されている。

日本人がよく利用する旅行代理店は次のとおりである(詳細はPart3イエローページを参照)。

- Yellow Page ・Bedel Turizm
- ・Diasos
- ・Babil
- ・Star Tours
- ・TEOS
- ・Alanca

このほか、日本航空、ルフトハンザ、オーストリア航空、エール・フランス、オランダ航空などの支店、代理店もある。

## 19. 私財の輸送、 引き取り、購入

### 19-1 家財道具

#### (1) 輸送会社

輸送会社は多いが、信頼できる会社は少ない。在留日本人の多くは、特定の輸送会社に家財の引き取りや引っ越し、輸入手続きなどを依頼している。手数料は多少高いが、過去にトラブルの例はない。

荷物が到着したら、輸送会社に委任状とパスポートを渡すと、輸送会社は、関係航空会社から引き取り書類を入手して税関手続きをしたのち、指定住所へ輸送してくれる。

#### (2) 輸入手続き

輸送会社に、パスポート(イカメットが必要なこともある)、B/L(船便の場合)またはAWB(航空便の場合)、インボイス、パッキングリストを渡して引き取ってもらうのが最も早い。

ただし、電化製品などがパッキングリストにあると、手続きは煩雑になることがある。その場合は、原則として派遣先の証明(個人の家財であり、帰国時に持ち帰るものであるという証明)が必要になり、Temporary Importationとして処理される。または、輸送会社が適当に便宜を図って引き取ることもある。パッキングリストは大まかに記載したほうが無難である。

#### (3) 輸入貨物の受け取り港

アンカラの代表的な輸入貨物受け取り港(空港)は、アンカラ空港(エセンボア空港)である。

### 19-2 自動車

#### (1) 一般状況

トファッシュ社が、フィアットからライセンスを得て国産車を生産している。また、ルノー、フィアット、フォード、オペル、トヨタ、ホンダがノックダウン方式での生産を行っている。

1989年の輸入税軽減、1995年のヨーロッパ関税同盟への加盟などにより、外車ディーラーが多く進出している。メルセデス、BMW、ボルボ、フォード、サーブ、スコダ、オペル、クライスラー、アウディ、フォルクスワーゲン、ヒュンダイ(現代)、デウ(大宇)などに加えて、トヨタ、ホンダ、ニッサン、スズキなど、日本車のディーラーも軒を並べている。

### (2) 輸入手続き

国産車を保護するため、現時点では外車の購入・持ち込みには、高額の税金とさまざまな制限が課されている。

外国人には関税の免税特権がある。外交官を除く外国人の免税輸入車は、売却先が免税特権のある外国人に限られる。そうでない場合は税金を支払うことになる。また、無料で贈与することもできないので、注意する。

車は右側通行であるが、ハンドルの規制はない。日本仕様車を輸入することも可能である。

### (3) 現地での購入

トルコ国産車を規定の税金を納めて購入すれば、いつでも誰にでも自由に売却することができる。

前述のように、イェニマハレやオースティンでは日曜日に「アラバパザル」という中古車市がある。トルコ語新聞にも車の売買広告が出ている。

中古車購入の際は、売買の両者が公証人役場(Noter)で契約する。購入者が税務署で購入税を支払ったあと、イカメットの手続きを行う警察本部(Emniyet Sarayi)のトラフィック支所で、車両所有許可証(Ruhsat)の名義変更とナンバープレートの変更を行う。

### Yellow Page

免税中古車は英字新聞の広告やEsen(詳細はPart3イエローページを参照)などの輸入手続き代行会社から情報を得る。購入の際の手続きは煩雑なので、これらの輸入手続き代行会社に依頼するとよい。手数料は車種にもよるが車の強制保険料を含めて1000米ドル程度である。売買証明の取得には、売買の当事者本人が大使館に出向いて本人証明を受ける。日本人同士の場合は日本大使館で行うが、売り手と買い手の国籍が違う場合は、一般に買い手側の大使館で証明を受ける(税関の担当者によっては売り手側の本人証明も要求することがある)。申請書数通、ギャランティ・レター(車関税保証書)、勤務証明、イカメットのコピー、手数料などが必要である。ギャランティ・レターは、銀行に車税金分に相当する保証金(トルコ・リラでも外貨でも可)を積んで、銀行から発行してもらう。保証金は車を売るまで預金しておかなければならないので、米ドル預金のほうが目減りのリスクは少ない。もし、配属先が文書で保証してくれるなら、銀行からのギャランティ・レターは不要である。

車両の免税購入については、以下の条件がある。

- ・トルコ外に旅行する場合など、車を持ち出さない時は、税関の倉庫に預けて出国する。または、あらかじめ配属先の車庫に保管する旨の申請を税関に出す。

- ・本人以外は運転しない。
- ・同様の特権を持つ外国人にのみ売却できる。
- ・無料で贈与することはできない。

#### (4) 自動車登録

車両所有許可証(Ruhsat)の発行もディーラーまたは輸出入手続き代行会社が行ってくれる。車両所有許可証は運転の際に常時携帯していなければならない。本人以外が運転する場合は、運転手の名前を追記しなければならない。

#### (5) 免許証取得

トルコで免許を取ることもできるが、1カ月ほど教習を受け、試験を受けなければならない。また、日本の免許をトルコの免許に書き換えることは可能である。

日本国内で国際免許証を取得しておくか、日本大使館で日本の免許証をトルコ語に翻訳したものを携帯していれば、トルコの免許証を取得する必要はない。国際免許証の有効期限は1年であるが、日本国大使館で発行してもらうトルコ語翻訳は日本の免許証の有効期限と同じである。日本の免許証が派遣期間中に期限切れとなる場合は、派遣証明などを持参してあらかじめ更新しておくほうがよい。

#### (6) 保険、税金

車両登録時には強制保険(トラフィック・シゴルタス)に加入する義務がある。その証書は常に車中に保管しておかねばならない。保険の有効期限は1年であるため、毎年更新する。

任意保険(カスコ)は、補償内容により異なるが、掛け金は年間で1000米ドル程度である。通常、対人・対物よりも当事者の車両の補償に重点が置かれているが、希望すれば対人・対物の補償額を増やすこともできる。

トルコでは、「たとえ人身(相手側)に被害があっても、相手に事故の要因があれば相手の責任」という方針で事故処理される。

また、毎年1月と7月の2回、車両税を支払う義務がある。銀行等で車両登録証を示して、車種により設定されている額を支払う。この時の納税証書も車中に保管しておかねばならない。車両の売却等においては納税されているかチェックされ、納税されていない場合延滞金も加えて納税を完了させないと、売却等の手続きを進めることができない。なお、前任者等から中古車を譲渡・購入した場合、前任者が納税していても、改めて新所有者が納税しなければならないことに注意する(例えば、1月に上半期分を納税された車を4月に譲渡・購入した場合、前任者の納税にかかわらず、新所有者は改めて上半期分の納税の義務がある)。

## 20. 地方都市

該当情報なし。

## Part 3 イエローページ

※特に記載のない限り、JICA事務所のあるアンカラの情報を中心にしています。

## 1. JICA 事務所

所在地 MNG Building 6th floor B Block Uqur Mumcu Cad. 88/6 Gaziosmanpasa. 06700 Ankara Turkey  
 TEL/FAX TEL: +90-312-447-2530~3 FAX: +90-312-447-2534  
 URL/E-mail URL: <http://www.iica.go.jp/turkey/>

## 2. 日本大使館

所在地 Resit Galip Cad. No.81. Gaziosmanpasa. Ankara  
 TEL/FAX TEL: 312-446-0500 FAX: 312-437-1812  
 URL/E-mail URL: <http://www.tr.emb-japan.go.jp>

## 3. 緊急連絡先電話番号

日本大使館 TEL: 312-446-0500  
 警察 TEL: 155(郊外・地方の場合:ジャンダルマ(内務省保安隊): 156  
 消防、救急車 消防 TEL: 110 救急 TEL: 112

## 4. ホテル

## &lt;5 つ星ホテル&gt;

## ・Hilton Oteli

Tahran Cad. 12. Kavaklidere  
 TEL: 312-455-0000  
 FAX: 312-455-0055  
 URL: <http://www.hilton.com>  
 E-mail: sales\_ankara@hilton.com

## ・Sheraton Ankara

Noktal Sok. Kavaklidere  
 TEL: 312-468-5454  
 FAX: 312-467-1136  
 URL: <http://www.sheraton.com>  
 E-mail: ankara.reservations@sheraton.com

## ・Rixos Grand Ankara

Ataturk Bulvari #183 Kavaklidere  
 TEL: 312-410-5500  
 FAX: 312-410-5555  
 URL: <http://www.rixos.com/>  
 E-mail: grandankara@rixos.com

## ・Swiss otel Ankara

Yildizevler Mahalessi Jose Marti Cad. No. 2 Cankaya  
 TEL: 312-409-3000  
 FAX: 312-409-3399  
 URL: <http://www.swissotel.com/EN/Destinations/Turkev/Swissotel+Ankara/Hotel+Home/Hotel+Description>  
 E-mail: Ankara@swissotel.com

## &lt;4 つ星ホテル&gt;

## ・HOTEL ALDINO

Tunali Hilmi Cad. Bulten Sok. 22. Kavaklidere  
 TEL: 312-468-6510  
 FAX: 312-468-6517  
 URL: <http://www.hotelaldino.com>  
 E-mail: aldino@ada.net.tr  
 ショッピング街に近く便利。

## ・Radison SAS

Istiklal Cad. No.20. 06030. Ulus  
 TEL: 312-310-4848  
 FAX: 312-309-3690  
 URL: <http://www.radissonsas.com>  
 E-mail: Info.ankara@radissonsas.com  
 官庁街に近く便利。

## ・Limak Ambassadors Boutique Hotel

Boqaz Sokak. No:19 Kavaklidere

TEL: 312-428-4848  
 FAX: 312-428-3434  
 URL: <http://www.limakhotels.com/ambassadore/en/index.html>  
 E-mail: [ambassadore@limakhotels.com](mailto:ambassadore@limakhotels.com)

#### <その他のホテル>

##### ・Best Apart Hotel

Ugru Muncu Sok. 71. G.O.P.  
 TEL: 312-446-8080  
 FAX: 312-446-8090  
 URL: <http://www.bestapart.com.tr>  
 E-mail: [reservation@bestapart.com.tr](mailto:reservation@bestapart.com.tr)  
 JICA 事務所へ徒歩 5 分。長期滞在の場合、料金交渉は可能。

##### ・King Hotel Cankaya

Pivade Sok. 17. Cankaya  
 TEL: 312-440-7931  
 FAX: 312-440-3755  
 URL: <http://www.kinghotel.com.tr>  
 E-mail: [otetas@kinghotel.com.tr](mailto:otetas@kinghotel.com.tr)  
 JICA 事務所へ車で 10 分。3 つ星ホテル。長期滞在可能。Studio は 2 室しかないため、事前に予約が必要。

##### ・King Hotel Guvenlik

Guvenlik Cad. A. Avranci  
 TEL: 312-418-9099  
 FAX: 312-417-0382  
 URL: <http://www.kinghotel.com.tr>  
 E-mail: [otetas@kinghotel.com.tr](mailto:otetas@kinghotel.com.tr)  
 3 つ星ホテル。官庁街に近い。

##### ・Mega Residence

Tahran Cad. 5. Kavaklidere  
 TEL: 312-468-5400  
 FAX: 312-468-5415  
 URL: <http://www.megaresidence.com>  
 E-mail: [reservation@megaresidence.com](mailto:reservation@megaresidence.com)  
 小ぶりなブティックホテル。Hilton Oteli のすぐそば。

##### ・Park Apart Hotel

Siman Bolivar Cad. No. 32. Cankaya  
 TEL: 312-441-5600  
 FAX: 312-441-2274  
 URL: <http://www.buyukhanliparkhotel.com>  
 E-mail: [sales@buyukhanliparkhotel.com](mailto:sales@buyukhanliparkhotel.com)  
 新興住宅地に位置する。長期滞在可能。

## 5.不動産会社

##### ・DETA Decoration, Estate & Teade Agency

Abdullah Cevdet Sok. 28/1, Cankaya  
 TEL: 312-440-4816  
 FAX: 312-439-9619  
 URL: <http://www.dataemlak.com>  
 E-mail: [deta1@superonline.com](mailto:deta1@superonline.com)

##### ・Real Estate & Consultancy

Ugur Muncu Cad. Hakan Apt. 72/2, Gaziosmanpasa  
 TEL: 312-446-1579/4500  
 FAX: 312-446-8102  
 URL: <http://www.gayeemlak.com>  
 E-mail: [info@gayeemlak.com](mailto:info@gayeemlak.com)

##### ・LOOK US Real Estate Agency

Ziar Rahmnan Cad. 11. Sok No:4/1 Birlik Mah. Cankaya  
 TEL: 312-442-9086  
 FAX: 312-440-5115  
 URL: <http://www.lookusre.com>

## 6. 電話局

- ・Yenisehir Telekom Mudurlugu (イエニシエヒル電話局)

Fiskiye Sok. No. 212, Kucuk Esat

TEL: 312-437-2333

FAX: 312-436-3838

URL: <http://www.telekom.gov.tr>

## 7. 美容室

- ・Paris Kuafor (パリス・クアフル)

Filistin Cad. No. 7, Gaziosmanpasa

TEL: 312-467-2777

高級美容院。奥に男性用サロンもある。

## 8. 飲食店

## &lt; 中国料理 &gt;

- ・Quick China (クイック・チャイナ)

Ugur Mumcu Sok. No.64/B, Gaziosmanpasa

TEL: 312-437-0303/0403

FAX: 312-437-0303

カジュアルながらおしゃれな雰囲気の中華料理店。寿司もある。テイクアウトも可。

ビルケントセンターの Real 前にも店がある。

- ・Sushico (寿司、中華、タイ料理)

Arjantin Cad. Attar Sok. No. 10

TEL: 312-426 2526

料金がかなり高め。PANORA にもある。

- ・Cin Seddi (中華料理)

Hosdere Cad. No. 176/B Y. Ayranci

TEL: 312-442-4963

アタクレタワーから徒歩7分。値段はリーズナブルで味も良い。テイクアウトも可。

## &lt; 西洋料理 &gt;

- ・BIG CHIEFS

Filistin Sokak Np.21, Gaziosmanpasa

TEL: 312-426-8814

中級。トルコ料理の他にステーキやハンバーガー、メキシコ料理など。値段の割に量が多い。

- ・Café Budakalti (カフェ・ブダックアルトウ)

Arjantin Cad. Budak Sok. No.6, Gaziosmanpasa

TEL: 312-427-8545

FAX: 312-427-3252

中級の上。

- ・Ivy (アイビー)

Arjantin Cad. No.44, Gaziosmanpasa

TEL: 312-444-0489

中級の上。

## &lt; イタリア料理 &gt;

- ・Mezzaluna (メツアルナ)

Iran Cad. Turan Emeksiz Sok. No.1, Kavaklidere

TEL: 312-467-5818

FAX: 312-467-5261

中級の上。イタリア人シェフによる本格イタリア料理。

ビルケントセンターにも店がある。

- ・Makkarna (マカルナ)

Resit Galip Cad. 89/2, GOP

TEL: 312-436-8088

イタリアンレストランで味も良い。日本大使館に近い。

## &lt; トルコ料理 &gt;

- ・GUNAYDIN (ギュナイドゥン)

Arjantin Cad. Attar Sok. No:6

TEL: 312-466-7666

値段は若干高めだがおいしい。

・Trilye(トリリア)

Resit Galip Cad. Hafta Sok 11/B

TEL:312-447 1220

雰囲気は良いが、料金は高め。

・Kale Washington(カレ・ワシントン)

Ankara Kalesi

TEL:312-311-4344

西洋料理、トルコ料理。中級。旧市街アンカラ城跡の近くにある。

・Haci Arif Bey(ハジ・アーリフベイ)

Guniz Sok. 48

TEL:312-467-0067

ケバブ料理。庶民的。ヒルトンホテル近く。

・Uludag Kebapcisi(ウルダー・ケバブジュス)

Denizcilar Cad. Opera, Ulus

TEL:312-312-4565

イスケンデルケバブ(ブルサ地方の肉料理)。中級。PANORA にもあり。

・Koroglu Iskembecisi(キョロール・イスケンベジシ)

Koza Sok.116, G.O.P.

TEL:312-446-5464

トルコ家庭料理。庶民的。

・Mangal(マンガル)

Cinnah Cad. Kuloglu Sok. 29

TEL:312-440-0959

トルコ料理、ケバブ。中級。

9. スーパーマーケット、食料品

・Begendik

Dr. Mediha Eldem Sok. No. 72, Kocatepe

TEL:312-419-3232

FAX:312-419-5232

URL: <http://www.begendik.com>

営業時間:10:00~21:30(月、火、水、木)、10:00~22:00(金、土、日)

コジャテペ・ジャミの下。酒類は販売していない。

・Migros (G.O.P.)

Ugur Muncu Cad. 66

TEL:312-446-4723

FAX:312-446-5111

URL: <http://www.migros.com.tr>

営業時間:9:00~22:00

JICA 事務所に近い。MM の Migros

・Buyuk Migros (ANKA mall内)

Akkopru, Iskitler

TEL:312-541-1212

FAX:312-541-1042

URL: <http://www.migros.com.tr>

営業時間:10:00~22:00

ショッピングモール(ANKA mall)にある。MMM の Migros。

・Migros("365"内)

365 Alisveris Merkezi

Birlik Mah. 428, Cad. No.41, Yildiz-Cankaya

TEL:312-450-0140

営業時間:10:00~22:00

ショッピングモール("365")にある。MMM の Migros。

・Real

Bilkent Center, Bilkent

TEL:312-266-0404

FAX:312-266-0401

営業時間:10:00~22:00

アンカラの中心地からは遠い。ビルケント大学に近い。家電製品も扱っている。

・Real

Ayvali Mah. Halil Sezai Erkut Cad., Afra Sok. No.1 Etlık

TEL: 312-304-9600

Antares(メトロ隣りのショッピングモール内)に入っている。

## ・Carrefour

CEPA Alisveris Merkezi, Eskisehir Yolu,

エスキシェヒール通りのショッピングモール CEPA 内。ビルケントより市内中心地寄り。

## ・Carrefour

Istanbul Yolu 12.km Bati Kavşagi Jandarma Karsisi, Batikent

TEL: 312-252-6600

アンカラの中心地からは遠い。

## ・Metro

Halil Seza Erkut Cad, No.30, Etlük

TEL: 312-304-9000

会員制の卸小売。会員登録が必要。

## ・Kipa

Turan Gunes Bulvari, No.182 Oran

TEL: 312-463-6767

営業時間: 9:00~23:00

ショッピングモール PANORA 内。日土基金会館近く。

## ・TAVILA(鶏肉)

Flistin Sok. No.10/A G.O.P

TEL: 312-436-4550 / 437-7033

モモ、ササミなどの日本語が通じる。配達可。

## 10. 食器・調理器具店

## ・Pasabahce(パシャバチェ)

Tunali Hilmi Cad. No.97, Kavaklıdere

TEL: 312-426-0682

URL: <http://www.pasabahce.com.tr>

トルコの有名ガラス製品店。ここ以外にも、ショッピングセンター(アルマダ、Kocatepe、ANKA mall、PANORA など)等にも店がある。

## ・esse(エッセ)

やや高級なキッチン用品店。ル・クルーゼなど輸入品も扱う。ショッピングセンター(アルマダ、ANKA mall、PANORA、アンタレスなど)等にも店がある。

## ・Kutahya Porselen(キュタヒヤ ポーセリン)

Sakraya Cad. SSK Ishani No.16, Kizilay

磁器の店。ショッピングセンター(ANKA mall など)等にも店がある。

## 11. 家具店

## ・Tepehome(テペホーム)

Real Bilkent Center

TEL: 312-266-1260

FAX: 312-266-1177

URL: <http://www.tepehome.com.tr>

中級。食器や調理器具などのキッチン用品、雑貨も扱っている。ANKA mall にも店がある。

## 12. ホームセンター

## ・Praktiker

Real Bilkent Center に隣接

TEL: 312-266-0302

ドイツ系の大規模店。商品の値段も割安で買いやすい。日本のホームセンターとほぼ同様の品揃え。Metro の向いにも店がある。

## 13. 医療機関

## &lt; 病院 &gt;

以下の情報は、在トルコ日本大使館HP ([http://www.tr.emb-japan.go.jp/J\\_06/J\\_06.htm](http://www.tr.emb-japan.go.jp/J_06/J_06.htm))よりの転載である。

## ・Guven Hastanesi

Simsek Sokak 29 Asagi Ayranci

TEL: 312-457-2525

FAX: 312-426-7414

アンカラの在留邦人が利用している。VIPと外国人用のコーディネーターセクションがあり、受診が容易である。トルコの首相など要人も入院した。救急は24時間受診可能。日本語不可。カード使用可。

## ・Akay Hastanesi

Büklüm Sokak 4 Kavaklıdere

TEL: 312-416-5050

アンカラの在留邦人が利用している。救急は24時間受診可能。日本語不可。カード使用可。

## ・Bayindir Ankara Hastanesi

Sogutozu 06520

TEL: 312-287-9000

硬膜下血腫の邦人が脳外科の手術をしたり、肺炎や白血病の邦人患者が入院治療した実績がある。救急は24時間受診可能。日本語不可。カード使用可。

## ・Tobb Etu Hastanesi

Yasam Caddesi No.5 Sogutozu

TEL: 312-292-9900

交通事故の邦人が受診した実績がある。当地の米国大使館員はこの病院と契約し利用している。救急は24時間受診可能。日本語不可。カード使用可。

## ・Esenboga Havalimani, Saglik Denetleme Merkezi

所在地: Esenboga Havalimani, Dis Hatlar

TEL: 312-398-0700

空港内国際線ターミナルにあるクリニック。黄熱のワクチンはここで接種する。午前9時から午後5時まで。日本語不可。カード使用不可。

## &lt;クリニック&gt;

## ・Bayindir Klinik

Ataturk Blv. No.201, Kavaklıdere

TEL: 312-428-0808

FAX: 312-428-0694

診療時間: 8:30～18:00

外来のみ。24時間救急あり。

## &lt;検査センター&gt;

## ・Med Lab

Iran Cad. 13/13 Kavaklıdere

TEL: 312-467-1954

FAX: 312-467-1925

診療時間: 8:30～18:30(月～金)、8:30～13:00(土)

診療科目: チェックアップ検査

## ・Duzen Laboratory

Ataturk Blv. 237

TEL: 312-427-8170

FAX: 312-427-8174

診療時間: 8:30～20:00(月～土)、8:30～18:00(日)

診療科目: チェックアップ検査

## &lt;産婦人科&gt;

## ・Dr. Selale Ozmen

Tunali Hilmi Cad. No.60/10, Kavaklıdere

TEL: 312-467-2610, 2611

英語が話せる女医。検診など可。

## ・Bayindir Ankara Hastanesi

Sogutozu 06520

TEL: 312-287-9000

## ・Guven Hastanesi

Simsek Sokak 29 Asagi Ayranci

TEL: 312-457-2525

FAX: 312-426-7414

## &lt;歯科&gt;

## ・DENT-ART

Kavaklıdere Sokak No.23/2, Sili Meydani Kavaklıdere

TEL: 312-426-7751, 7754

---

 FAX: 312-468-3303
 

---

 在留邦人がよく利用している。英語可(但し受付は不可)。
 

---

#### 14. 銀行

##### ・Turk Ekonomi Bankasi (TEB、Gaziosmanpasa 支店)

---

 Ugur Mumcu Cad. No. 76/A, Gaziosmanpasa
 

---

 TEL: 312-447-7440
 

---

 FAX: 312-447-7402
 

---

 URL: <http://www.teb.com.tr>


---

 JICA 事務所に近い。
 

---

#### 15. レンタカー会社

##### ・AVIS

---

 Tunus Cad. 68/2, Kavaklidere
 

---

 TEL: 312-467-2313
 

---

 FAX: 312-467-5703
 

---

##### ・Hertz

---

 Kizilirmak Sok. 1
 

---

 TEL: 312-418-8440
 

---

##### ・Budget

---

 Tunus Cad. 39/A, Kavaklidere
 

---

 TEL: 312-417-5952
 

---

#### 16. 観光案内

##### ・Turizm Informasyon

---

 Ismet Inonu Blv. No.5, Bahcelievler
 

---

 TEL: 312-212-8300
 

---

 FAX: 312-213-6887
 

---

#### 17. インターネット・プロバイダー

##### ・ADA-NET Internet Ve Iletisim Hiz. Tic. Ltd. AS.

---

 Bulten Sok. 4/4, Kavaklidere
 

---

 TEL: 312-467-5859
 

---

 FAX: 312-467-3332
 

---

 URL: <http://www.ada.net.tr>


---

 E-mail: [infoada@ada.net.tr](mailto:infoada@ada.net.tr)


---

##### ・KabroNET

---

 Sancak Mah. 201. Sok. No:5/A, Cankaya
 

---

 TEL: 312-442-8010/1/2
 

---

 FAX: 312-440-7674
 

---

 E-mail: [kablonet@kablonet.com](mailto:kablonet@kablonet.com)


---

#### 18. 郵便局

##### ・PTT Koli Servis Mudurlugu (郵便小包サービス局)

---

 Esref Bitris Cad. No.8, Yeni Mahalle
 

---

 TEL: 327-1754/1755
 

---

 営業時間: 9:00~16:30(昼休み 12:00~13:00)
 

---

##### ・PTT Kizilay 局

---

 Ataturk Bulvari Emek infaat No.95/1 Kizilay
 

---

 TEL: 312-418-9409
 

---

 営業時間: 8:00~20:00
 

---

##### ・PTT Kavaklidere 局

---

 Cinnah Cad. No.6 Kavaklidere
 

---

 TEL: 312-428-4265
 

---

 営業時間: 8:30~17:00
 

---

 日本人の多い Kavaklidere 地域にある。
 

---

## 19. 国際宅配サービス会社

## ・ASE (OCS アンカラ支所)

Mesnevi Sok. No.42/13, A. Ayranci  
 TEL: 312-444-0026  
 FAX: 312-440-7051  
 E-mail: ocs@kablonet.com.tr  
 日本までの料金(目安): 0.5kg まで 26 ユーロ

## 20. コンピューター修理会社

## ・Macrom

Cinnah Cad. Ahenk Sok. 7/B, Cankaya  
 TEL: 312-441-0055~6  
 FAX: 312-438-8624  
 URL: <http://www.macrom.com.tr>  
 E-mail: macrom@macrom.com.tr

## ・Kulup Abakus Bilgisayar Hizmetleri Tur.Tic.Ltd.

Azerbeycan Cad. No.10. A Bahcelievler  
 TEL: 312-215-2820  
 FAX: 312- 223-6966

## ・Devran Gilgisayar Iletisim ve Gida Sanayi Ticaret Ltd.

Mithatpasa Cad. No.34/F-59, Kizilay  
 TEL: 312-433-5763  
 FAX: 312-433-5765

## 21. 運送会社

## ・Esen Nakliyat

8. Cad. No.10/18, A. Ovecler  
 TEL: 312-472-2090  
 FAX: 312- 472-2096  
 URL: <http://www.esenmoving.com.tr>

## ・Asya Nakliyat

Ataturk Blv. No.127, Bakanliklar  
 TEL: 312-417-4184  
 FAX: 312-425-6995  
 URL: <http://www.asyanakliyat.com.tr>

## 22. 教育機関

## &lt;日本人学校&gt;

## ・アンカラ日本人学校

2004 年 3 月をもって休校となった。なお、補習校はない。

## &lt;外国人学校&gt;

## ・Oasis International School

Cidem Mah. 25 Cad. 362, Sk. No.5, Balgat 06530

TEL: 312-285-7524

FAX: 312-286-0560

URL: <http://www.iscankara.org>

E-mail: Ankara@oasisis.org

米国系の学校。

授業料その他(2008/2009 年)

年間授業料: 幼稚園(4、5 歳)\$6,500、小学校(G1~G6)\$8,000、中学校(G7~G9)\$9,500

年間登録料: \$500

通学バスは距離によるが\$100/月程度。なお、上記の額に KDV(付加価値税)が 8%加算される。授業料の支払いは月毎、四半期毎など状況によって柔軟な対応可。

## ・Bilkent International School (BIS)

East Campus 06533, Bilkent

TEL: 312-266-4961/4962

FAX: 312-290-5361/5362/5202/5203

<http://www.bupsbis.bilkent.edu.tr/>

トルコの私立大学 Bilkent University が経営する学校。

年間授業料その他(2006/2007 年)

Pre-School: 情報なし

Elementary School(G1～G5): 授業料 TL12,792(兄弟割引 TL10,745)、給食代 TL1,260

Middle School(G6～G8): 授業料\$13,920(兄弟割引\$11,685)、給食代\$935

High School(G9～G12): 授業料\$15,930(兄弟割引\$13,385)、給食代\$935

なお、上記の額に KDV(付加価値税)が 8%加算される。兄弟割引は 2 人目以降に適用される。通学バスは距離によるが、日本人が多く住むガジオスマンパシャ、チャンカヤ地区は TL1,784(KDV 込み)。

・George C. Marshall American School

009254 Balgat, Ankara

TEL: 312-287-2532

もともと米軍人子弟のための学校。そのため、授業料は米軍関係者でないとなかなか高い。

授業料(2008/2009 年)

幼稚園～G6: \$19,980

G7～G8: \$21,036

G9～G12: \$22,092

・British Embassy Study Group

British Embassy, Sehit Ersan Cad. 46/A, Cankaya

TEL: 312-468-6563

FAX: 312-468-6239

URL: <http://www.besg.org/go/index.php>

E-mail: [admin@besg.org](mailto:admin@besg.org)

年間授業料その他(2008/2009 年)

Nursery: 4,250 ポンド

Reception(幼稚園に相当)及び 1～6 年生: 7,500 ポンド

学年は英国式なので、日本式より 1 年早い(例えば 1 年生は 5～6 歳が対象となる)

上記額に加えて、Application fee 100 ポンド、Registration fee 750 ポンド

また、チャンカヤ、ガジオスマンパシャ地区であれば通学バスがある(別途バス代が必要)

・Pakistan Embassy International Study Group

URL: <http://www.pesg.org/>

・Our Lady of Victory School(パチカン大使館付属)

URL: <http://www.olvsat.com/>

<幼稚園>

・The Ankara English Preschool

Nenehatun Cad. 62, G.O.P.

TEL: 312-437-0028、446-5588

FAX: 312-447-6455

Email: [aepikadim@superonline.com](mailto:aepikadim@superonline.com)

URL: [www.ankaraenglishpreschool.com](http://www.ankaraenglishpreschool.com)

使用言語: 英語

授業料その他(2006/2007 年)

1 歳児クラス: 週 1 日(木曜日)午前(10:30-12:00)\$60/月

2 歳児クラス: 週 5 日午前(8:30-13:00)(昼食含)\$425/月  
週 3 日午前(8:30-13:00)(昼食含)\$365/月

3 歳児クラス: 週 5 日午前(8:30-13:00)(昼食含)\$2,200/学期  
週 5 日終日(8:30-18:00)(昼食含)\$2,975/学期

4/5 歳児クラス: 週 5 日終日(8:30-15:30)(昼食含)\$2,700/学期  
週 5 日終日(8:30-18:00)(昼食含)\$2,975/学期

※学期は 2 学期制となっている(9 月～1 月、2 月～6 月)

入学科: \$180

上記の額に KDV(付加価値税)が 8%加算される。

バス代: TL130

・Sihirli Bahce Montessori Okulu

15 Sokak No: 12, Birlik Mahallesi, Chankaya

TEL: 312-496-1771

Email: [sihirlibahce@ada.net.tr](mailto:sihirlibahce@ada.net.tr)

URL: [www.sihirlibahce.com.tr](http://www.sihirlibahce.com.tr)

使用言語: 英語

授業料その他(2006/2007 年)

週 5 日半日コース(8:30-13:00)425 ドル/月

週 5 日終日コース(8:30-15:00)500ドル／月  
 登録料:なし  
 上記の額にKDV(付加価値税)が8%加算される。  
 バス代:TL110

・The International Preschool and Kindergarten

Resit Galip Caddesi No:102, G.O.P.(日本大使館の向かい側)  
 TEL: 312-437-8855  
 FAX: 312-437-6878  
 Email: info@preschooltr.com  
 URL: http://www.preschooltr.com/contact.htm

使用言語:英語

授業料その他(2008/2009年)

週 5 日終日(9:00-15:30)950ドル／月(KDV 込)

週 3 日終日(9:00-15:30)590ドル／月(KDV 込)

週 5 日半日(9:00-13:00)790ドル／月(KDV 込)

週 3 日半日(9:00-13:00)490ドル／月(KDV 込)

昼食代は別途支払い(7TL/日)。授業料は年間一括払い(10ヶ月分)の場合15%割引。兄弟割引あり。

・Gence Preschool

Kirlangic Sokak No:5, G.O.P  
 TEL: 312-426-4367  
 URL: http://www.geceyuva.com

・その他外国人学校に付属する幼稚園があるので、上記外国人学校の欄も参照のこと。

## 23. 図書館

・Milli Kutuphane

Bahcelievler Son Durak  
 TEL: 312-212-6200  
 FAX: 312-223-0451  
 URL: http://www.mkutup.gov.tr  
 利用時間: 9:00~23:00(平日)、9:30~21:00(週末)

## 24. 日本の新聞の購読

・OCS COURIER SERVICE (London) Ltd.

1 Galleywall Road London SE16 3PB  
 TEL: +44(イギリス国番号)-20-7740-0174  
 FAX: +44(イギリス国番号)-20-7394-1578  
 E-mail: jsc@ocscourier.com

## 25. スポーツ施設

・Sports International

Bilkent 1. Cad. Bilkent  
 TEL: 312-266-7100  
 プール(屋外、屋内)、テニスコート(屋外、屋内)、エアロビクススタジオ、ジム、サウナなどの施設が整っている。

・Ankara Club

Ugur Mumcu Cad. 99, Gaziosmanpasa  
 TEL: 312-436-3000  
 JICA 事務所が入っているビルの地下階にある。プール(屋外、屋内)、テニスコート(屋外、屋内)、エアロビクススタジオ、ジム、サウナなどの施設が整っている。

・Ankara Ahlatlibel Golf Club

Teaching Pro. Erkan Demirci  
 TEL: 312-489-8182  
 オランより先。年会費\$150、ビジター制もあり。

## 26. 語学学校

・TOMER (トメル)

Tunali Hilmi Cad., Kavaklidere  
 TEL: 312-426-2746

アンカラ大学付属の語学学校。

トルコ語のほか、英語、フランス語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、ギリシャ語、オランダ語、ブルガリア語、アラブ語、中国語、日本語が学べる。

なお、クズライにもあるが留学生等の若い世代が多く通っているため、授業の進度が速いといわれている(TEL: 312-434-3090)。

・Active English

Ataturk Bulvari No.127 Kat 7, Bakanliklar

TEL: 312-419-0310, 312-418-7973

英語、トルコ語

## 27. 旅行代理店

・Bedel Turizm

Ataturk Blv. No.127, Bakanliklar

TEL: 312-419-6802, 419-2852

FAX: 312-419-6804

・Diasos

Rabat Sok. No.27/3, Gaziosmanpasa

TEL: 312-467-1744

FAX: 312-437-5146

URL: <http://www.diasos.com.tr>

E-mail: [info@diasos.com](mailto:info@diasos.com)

・Babil

Guniz Sok. No.32/1-2, Kavaklidere

TEL: 312-467-3610

FAX: 312-467-9916

E-mail: [babiltra@tr-net.net.tr](mailto:babiltra@tr-net.net.tr)

・Star Tours

Cinnah Cad. 61/1 Cankaya

TEL: 312-438-9900

・TEOS

Cemal Nadir Sok. 4/2 Cankaya 06680

TEL: 312-438-1176～7, 312-440-9580～1

・Alanca

Ugur Muncu Caddesi No.61/3, G.O.P

TEL: 312-446-5350

## 28. 輸出入手続き代行会社

・Esen

8. Cad. No.10/18, A. Ovecler

TEL: 312-472-2090

FAX: 312- 472-2096

URL: <http://www.esenmoving.com.tr>